独立行政法人福祉医療機構　平成22年度社会福祉振興助成事業

モバイルシニアネット活動報告書

2011年3月

特定非営利活動法人 コミュニティリンク

報告書　目次

1　事業総括報告　モバイルシニアネットプロジェクトコーディネーター.....3
（東京大学先端科学技術研究センター交流研究員・老テク研究会事務局長）　近藤則子

2　各地の電話教室からの活動報告.....11
2－1　特定非営利活動法人 あびこ･シニア・ライフ・ネット.....13
2－2　特定非営利活動法人 きんきうぇぶ.....19
2－3　特定非営利活動法人 湖南ネットしが.....26
2－4　特定非営利活動法人 花パソ.....30
2－5　特定非営利活動法人 松本シニアネットクラブ.....32
2－6　特定非営利活動法人 シニアSOHO普及サロン・三鷹.....34
2－7　老テク研究会　（東京大学先端科学技術研究センター・香林院　他）.....36

3　モバイルシニアネットシンポジウム＆電脳ひな祭り2011.....41
3－1　当日のプログラムと会場のようす（写真）.....43
3－2　発表資料.....50
モバイルシニアネットプロジェクト概要　　コミュニティリンク
モバイルシニアネット活動先進事例
満員御礼　iPad講習会　　シニアSOHO普及サロン・三鷹
大好評！　Galaxy Tabと楽しむ鎌倉の春　　パソルーム
コミュニティカフェで楽しいケータイ教室　　あびこ・シニア･ライフ･ネット
3－3　シニアとインターネット調査報告　　NTTデータ　ICS研究会.....64
3－4　パネルディスカッション資料.....67
シニアのこころと暮らしを支えるメロウ倶楽部　　メロウ倶楽部
シニア層に向けたドコモの取組み　　ＮＴＴドコモ
らくらくパソコンへの取組み　　富士通
3－5　デジタルテレビの新しい楽しみ方　　三菱電機.....78
3－6　モバイルインターネットで遠隔交流・学習　　きんきうぇぶ.....79

4　メディア　読売新聞　朝日新聞　公明党新聞　ＮＨＫ総合ＴＶ.....81

5　むすびにかえて　災害時に役立つケータイ講座.....89
別添１　高齢者むけの携帯電話テキスト　楽しいケータイ活用術
別添２　モバイルシニアネットシンポジウム＆電脳ひな祭り　プログラム
みんなでつくろう！　高齢者の社会参加を支援する情報通信端末・サービス

1　事業総括報告

１　モバイルシニアネット事業総括

モバイルシニアネット事業では、高齢者、障害者の自立や社会参加支援を目的に、地域の行政、福祉団体、企業、市民団体と連携しながら、**携帯電話を活用したデジタル情報学習拠点を構築し、**モバイルコミュニティを通じた高齢者への情報提供、社会参加への支援を行うべく、高齢者向けの携帯電話講習会のためのテキストを作成し、携帯電話や新たに登場したタブレット端末の活用講習会を実施した。

１－１　　テキストの作成・配布

携帯電話講習会のテキストは、東京と大阪の実施団体との会合で寄せられた意見や、有識者からの助言をもとに作成した。
初級、中級、上級むけにわけてレッスンごとに構成したテキスト「楽しいケータイ活用術」を教室に配布すると同時にコミュニテイリンクのホームページから無償でダウンロードできるようにした。

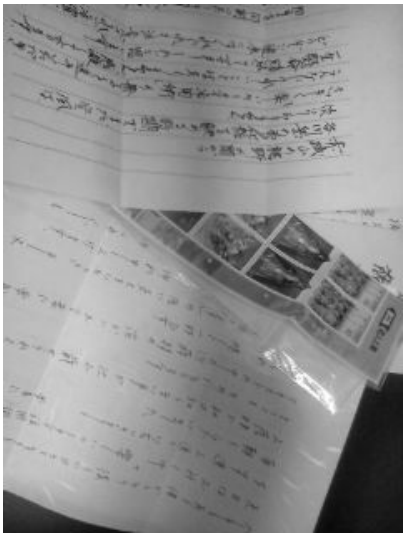
ダウンロードができるコミュニティリンクのホームページ

テキスト利用回数

公開開始直後に読売新聞で紹介され、ダウンロード回数は 3 月末に 4386 回に達した。

一括ダウンロード数 2078　　分割ダウンロード数は　2308
表紙：342　はじめに：199　目次：311　初級編：963　中級編：489　上級編：346
郵送　約４０部　　手渡し　60 部

パソコンを使えないので、どうしても冊子を送ってほしいという方には郵送した。
複数の方からお礼の手紙をいただき、切手を同封してくださった方もおられた。



いただいたお礼のお手紙より
知らないことがたくさんあって、ためになります。
温かい言葉に勇気づけられました。楽しみが増えました
東京都葛飾区　78 歳　女性

最近、自宅から施設に移りました。知り合いと離れてしまったので、
一生懸命がんばってマスターしたいと思います。
群馬県　８２歳　女性

１－２　　携帯電話講習会の実施

携帯電話講習会は、７つの実施団体が協力し、告知、参加者を募集し、講習会のために作成されたテキストを基本として、講習を行った。

初級講座　携帯電話の基本料金で利用できる機能　　通話、カメラ、ショートメール等

中級講座　インターネット契約（350 円）利用者むけにメール、ＱＲコード活用等

上級講座　パケット定額契約（4410 円）をしている利用者むけに、携帯電話サイトの無料作成
魔法のｉらんど、Ｋａｔｙ、Twitter などソーシャルメディアの使い方

ｉＰａｄ講座
2010 年に大きな話題を集めた「ｉＰａｄ」などのタブレット型モバイル端末は高齢者に使いやすいと評判をよび、参加者にも大変好評であった。

関東と関西で実施された携帯電話教室の参加者は 700 名をこえ、新たに作成された携帯サイトやソーシャルメディアのＴｗｉｔｔｅｒ利用者も増えた。
新聞、テレビなどからも大きな注目を集めた。
各地の教室からの報告は、次章に掲載したが、これまでは高齢者が携帯電話を習いたくても教えてくれる場所や講師も少なく、今回の取組みは各地で喜ばれた。

参加した高齢者の学ぶ姿勢は、大変熱心であり、品川区のデイサービスセンターでは「ぜひ、定期的に開催してほしい」との要望があった。

孫のメールに返事を出したいという女性
（品川区の健康福祉センター“とらとぴあ”で）

待ち受け画面は喜寿の祝いの舞姿
（横浜市戸塚区の教室で）

１－３　　高齢者を情報弱者にしないための携帯電話教室

モバイルシニアネット活動は、在宅介護を支援する情報通信サービスを研究してきた老テク研究会が、2001 年に「ケータイで介護を少し楽しく！」と呼びかけて始まったボランティアによる小さな携帯電話教室として始まった。

2005 年から 2010 年までは、ＮＴＴドコモの社会貢献部門と協働して、老テク研究会が講師をつとめ、ドコモの社員と共に、各地の自治体（群馬県みなかみ町、神奈川県開成町他）や教育委員会、社会福祉協議会、北海道から九州まで全国のシニアネット団体、民間パソコン教室など、８０以上の地域で実施した。
のべ 1000 人をこえる高齢者に、無料の携帯電話教室**「いきいきシニアのケータイ活用セミナー」**を開催してきた。

セミナーでは、携帯電話が持つ、見えにくい、聞こえにくい、覚えにくい、思い出せないなど、加齢によって誰もが体験する心身の機能低下を補ってくれる、**情報バリアフリーコミュニケーション支援機能**、（例：文字通信、カメラ、音声読み上げ機能他）ＧＰＳを使った位置通知情報など、使いこなせればシニアにこそ便利であるにも関わらず、知られていない、使われていない、いろいろな機能を紹介し、携帯電話の利用における注意点や災害時の安否確認ができる**「災害用伝言板サービス」**の使い方を紹介した。

参加者から「持っていても、使ったことのない、知らない機能があって驚いた」「携帯電話は料金が高いと思っていたが、使い方によってはそうでもないことを知った。便利なサービスを使ってみたい。」という声が寄せられ、いかにこの活動を拡げることができるかが課題となった。

携帯電話各社や企業やＮＰＯも独自の携帯電話教室をさまざまな形で実施しているが、必要としている高齢者に講習会や、利用支援サービスを提供するのは企業やＮＰＯだけでは限界がある。

財団法人福祉医療機構の助成によって、このたび各地の情報化を支援しているＮＰＯや民間パソコン教室のネットワークが構築され、高齢者むけの携帯電話講習会を実施できたことは、世界でも初めての取組みであり、支援に対して心から感謝したい。

１－４　大規模災害時の安否確認、地域の生活支援情報収集手段

大規模地震などの災害時の安否確認ができる**「災害用伝言板」の使い方**を紹介してきたことで、モバイルシニアネットは 2006 年にニフティの防災グランプリを受賞した。

2011 年､3 月 3 日モバイルシニアネット活動の報告会として実施したシンポジウムのわずか 1 週間後の 3 月 11 日に未曾有の災害、東日本大震災が発生し、世界中に大きな衝撃をもたらした。

モバイルシニアネットプロジェクトに参加してくれた団体のひとつ、千葉県のあびこ・シニア・ライフネットからの「何か自分たちらしい支援ができないか。」との呼びかけに応え、以前より災害用伝言板の使い方講座を実施していた大阪のきんきうぇぶのサイトから「災害時に役立つケータイ講座」の資料が公開され、大阪と我孫子で実施された。

地域の高齢者を対象に携帯電話の災害用伝言板の使い方を紹介し､講習費用の 500 円を被災者や被災自治体への募金にしようというものである。 参加者からの応援の寄せ書きも集めている。
東北で親族を失った参加者もあり、「このサービスを知っていればよかったのに」という感想が寄せられている。

写真はきんきうぇぶの災害時に役立つケータイ講座より

講習会の資料がホームページで紹介されると、他の地域からも開催の希望が寄せられた。
民間のパソコン教室のオーナー団体であるパソコープに参加する教室や､熊本県のＩＴコーディネーターらが主宰する携帯電話講座も、熊本市で近く実施される予定である。

災害時の緊急連絡に強い携帯電話の有用性が改めて認識され､ソーシャルメディアといわれる情報サービスを活用した新たな高齢者の社会貢献､情報ボランティア活動として拡がろうとしている。

１－５　これからの課題―コミュニケーション力の向上

介護も災害も、時々刻々と変化する状況（気象や健康状態）に対応するために、迅速に適切な情報を選択し、利用できることが時に生死をわける。
それには「携帯電話の操作ができる」だけではなく、「情報」そのものを見極め、活用する読解力や情報発信力が求められる。

これからのモバイルシニアネット講習会において必要とされるのは、情報通信機器の操作ができるようになった高齢者に、デジタル情報を双方向で利用できるための「コミュニケーション力」である。　メッセージを伝えたい相手に伝える力、必要な情報を収集し、読み解く力をいかに向上できるかが重要である。

そのために必要なのは「個人の自立」である。自分の責任において決断し、実行していくにはこれまでのような日本の高齢者の「老いては子に従う」生き方ではたちゆかない。
老いても子は近くにおらず、そもそも子がいない高齢者が増える時代なのだ。
パソコンや携帯電話でつながる多くの人たちとの信頼関係を構築し、高齢者の社会参加を支援していかねばならない。

１－５　ネット社会における「本人確認の手段」としての携帯電話

定年後、帰属する組織を離れた高齢者は、金融機関や病院、役所などで「本人確認」を求められる。現在は、紙の「運転免許証」や「健康保険証」を提示することで、間違いなく本人であることを「認証」してもらえるが、インターネット上で行政や企業から物品購入や確定申告などのさまざまなサービスが提供される時代を迎え、ネット上で「なりすまし」によるトラブルを防止できるかが、大きな課題になっている。

携帯電話番号を活用することで、日常生活に便利な買い物や、健康相談、小口の送金などの生活支援サービスが利用できるようになれば、高齢者の自立生活を支援できる。
病院の手続きや施設の入居などの書類に必要な情報を介護や医療事業者と共有できれば、適切な医療や福祉サービスを利用しやすくなり、事業者も利用者の来歴を知ってきめ細かなサービスの提供が可能になる。高齢者が情報技術を活用できれば社会全体にプラスである。

日本は世界のどこの国も経験したことのない「超高齢社会」を迎えている。
社会に貢献したいという意欲あふれる高齢者の知識と経験を、若い世代と共有できるようモバイルシニアネット活動を継続、発展させたい。

2　各地の電話教室からの活動報告

各教室からの報告をそのまま掲載します。

2　各地の電話教室からの活動報告

2－1　NPO 法人 あびこ・シニア・ライフ・ネット

モバイルシニアネット　第1回「楽しいケータイ活用術講座」
2010年10月22日　於：あびこ・シニア・ライフ・ネット

10月22日（金）午後、第1回講座が開催され20名の参加者がありました。参加されたシニアの皆さんは、ほとんどの方が 「電話利用が主で、メールの利用はあまりありません」との返答あり。ケータイには便利な機能がたくさんあります。「この講座を利用して学びましょう」 ということで講座がスタートしました。

ケータイで「いつでも」「どこからでも」つながる電話やメール、まずは設定から始めましょう。通話の録音機能や音声読上げ機能など、身体や視聴覚機能の低下を補ってくれる機能があります。これらケータイの機能を活用してシニアライフを楽しく過ごしましょう。

第1回の講座では受講生の皆さんの日頃のケータイ利用状況を紹介していただきました。

A さん：妻、娘と家族3人でケータイを利用してます。私はほとんど電話の受信専用で使っています。娘からメールも　入りますが、返事はめんどうなのであまりしません。今回ケータイの操作、機能を学んで家族間のコミュニケーションを図りたいと思っています。

N さん（女性）：ケータイは楽しいです。友達とのコミュニケーションに毎日利用してます。毎月の通信料が気になります。

O さん：ワンタッチコールボタンに掛りつけの病院の電話番号を登録しています。持病があるので緊急時には、ワンタッチで病院にコールします。

K さん：ケータイは朝起きてから夜寝るまで利用してます。 ケータイの目覚ましで起床し、予定メモ帳で当日の予定を　確認したり、インターネットでニュースをみたり、ネットショッピングも行います。ケータイがなかったら困ってしまいます。

受講生のみなさん、それぞれの生活スタイルによってケータイを利用しています、がケータイにはまだまだ便利な機能がたくさんあります。この講座でまなびましょう。
次回の第2回講座では、ケータイのカメラ機能や便利なメール機能などを楽しく学ぶ予定です。

1/5

11月12日(金)午後、第2回講座が開催され20名の参加者がありました。
今回は、ケータイカメラの利活用を楽しく学びました。内側カメラの活用、ズームおよび接写
などこれまで使用経験がなかった方が多く見られさっそく参加者どうしで実写しておられました。 ふだ
んはデジカメを使いほとんどケータイのカメラを使わないという人もおられましたが、
ケータイカメラでも十分な写真が取れることまた画像容量の大小選択ができる機能を学び
今後は大いにケータイカメラを活用したいとの感想でした。

「受講生のみなさん、それぞれの生活スタイルによってケータイを利用しています、がケータイにはまだま
だ便利な機能がたくさんあります。この講座で学びましょう。』ということで、今回は終了となりました。
次回の第3回講座は12月17日(金)午後に行なう予定でメール機能およびその活用を学ぶ予定です。

12 月 17 日(金)午後、第 3 回講座が開催され 24 名の参加者がありました。
今回は、ケータイでメールの利活用を楽しく学びました。SMS の活用、メールの作成、送信そして
返信、またケータイカメラでご自分をカシャと撮って 即、メールに添付で送付と、皆さん結構すばやく操
作ができていました。
ふだんはあまりメールは使いません、と言っていた S さんでしたが、SMS もマスターしメール作成、
そして得意のケータイカメラでバッチリ写真をメールで送付と、なかなか快調です。でも写真を
小さくして送ることを、つい忘れてました。
車イスで参加してくれた HA さんは、最近ケータイを新しい機種にしたとのことで、その操作を
一生懸命に学んでおられました。講座終了後は、満足されたご様子でお帰りになりました。
ショートメール(SMS)をご存知なかったYさんは、SMS 1通の

送付料金が5円と知って、料金が安いので使ってみようと思う、
電車の中で通話できない場合などは、ショートメールを使えば便利だネ、と満足顔でした。

車イスで参加の長谷川さん 2010-12-17

2/5

1月21日(金)午後、第4回講座が開催されました。

今回は上級編で「携帯サイトをつくってみよう」と
いうことで、参加者はパケット定額サービス契約を
している人も含めて7名でした。
今回参加された皆さんは、ある程度パソコン操作に慣れて
おられる方々でしたが、ケータイではあまりインターネットを
利用していないとのことでした。新聞情報によれば、ケータ
イでのインターネット利用者が7千万人を超え、パソコンで
の利用者よりも多くなったとのことですが、高齢者にとって
は、まだまだケータイでのインターネット利用者が少ない
ようです。

さっそく、ケータイでインターネットに接続し、ニュースおよび
WAM携帯サイトのページを見てみました。またQRコードの
読み取り接続、QRコードの作成方法(無料の作成サイト:
QRのススメを利用)も学びました。

参加者の多くは、ネットショッピングやネットオークションの
経験を持っていない人がほとんどでした。理由はネットショッ
ピングなどで起こっている代金支払い時のトラブルや、注文
品の内容問題をあげていました。今後の適切な利用方法を
話し合いしました。

モバイルシニアネット 「コミュニティCafé で楽しいケータイ教室」
2011年2月1日(火) 於:我孫子市けやきプラザ 喫茶店「ぽぽら」

2月1日(火)午後、第5回講座として「コミュニティCafé で
楽しいケータイ教室」が、JR我孫子駅南口のけやきプラザ1階
にある喫茶店「ぽぽら」にて行われました。

参加者は10名でおいしいコーヒーとケーキを食べながらワイワイ
楽しいケータイ教室が始まりました。
全国で初めてのコミュニティCafé でのケータイ教室を取材に来られ
た「東葛毎日」と「イースト情報」の2社の記者さんが見守るなかで、
ケータイカメラで動画を撮ってみよう!から講座が始まり、ほとん
どのみなさんはケータイカメラでの撮影が初めてでしたが、楽しそ
うにお互いを撮りあいしていました。外側カメラだけでなく、
内側カメラでも楽しんでくださいネ。

3/5

みなさんマイペースで合間にコーヒーを飲みながら、次はケータイ
の便利な機能として予定表を設定し、設定日時に「予定の時刻です」
と呼び出されて「うん、うん、これは便利だ。約束の時間や、友達の
誕生日も忘れないネ」と満足げでした。

おいしいケーキを食べた後は、I さんと O さんが作った無料携帯サイトを見てみることになりました。
二人とも Katy(ケイテイ)のお店を作ってみたとのことで、参加者は、QR コードを読み取ってインターネットに接続し二人のお店サイトを拝見しました。
参加者のなかには、パケット通信定額サービスの契約をされていない人もおられましたが、この機会に携帯ショップに行って契約をするとの人もおられました。
また、携帯サイト作成において写真のアップがうまくいかないとの意見が出て、次回はパソコンも準備して写真アップをトライしてみようとなりました。
次回は携帯サイトを作ってみよう！ということで2月15日に開催する予定で、今回は「コミュニテイ Café で楽しいケータイ教室」を行うことができました。
皆さん、また参加してくださいネ。

4/5

2月15日(火)午後、第6回(最終回)のケータイ講座が開催されました。

会場は我孫子市けやきプラザ10階にある「市民活動ステーション」会議室です。
今回は第6回講座(最終回)で上級編ということで、8 名が参加しました。

参加者より事前に、スマートフォンについての
質問があったことより、「スマートフォンって何に(?)
のから始まりました。
スマートフォンとは、従来の携帯電話とパソコンの
中間的なものであること。多くの機種はタッチパネルで
操作するようになっていて、通話ができ、パソコンと同じ
ウエップサイトが見られてパソコンで使っているメールを
送受信することができること、などなど。
実際にスマートフォンの操作で、参加者も納得です。

日本では、2008年に発売された iPhone からスマート
フォンの普及がはじまったこと。一見すると似たように
見えるスマートフォンだが、OS によって操作性が異なること。
パソコンに Windows, Mac などがあるように、スマートフォン
にも iPhone, Andoroid, BlackBerry,
Windows Phone などの OS があることを学びました。

参加者より、「料金はケータイ電話より高いのでしょうか」
との質問があり、基本料金と通話料金は従来型のケータイ電話
と同じです。メールやインターネットを利用するための
パケット通信料は、パケット定額制サービスに加入すべきです。
ドコモの場合その上限額(5985円)が携帯電話で i モードを
使用する場合(4410円)よりも高くなることを学びました。
また、今後は、従来型のケータイ電話が減って、スマートフォン
が増えていくであるとのことをまなびました。

講座での後半は、O さんおよび I さんが無料携帯サイト
作成サービス Katy および魔法の i ランドで作成した
携帯サイトの更新方法を参加者全員でパソコンを使って
学びました。写真のアップロードが写真の大きさ(容量)で
出来なかったり、更新ページアップまでに多少時間が掛かる
ことを学びました。

皆さん休憩もとらず3時間の講座、ご苦労さまでした。

5/5

（追加ページ）2月1日に行いました「コミュニティCaféで楽しいケータイ教室」が地域情報誌ー2社に掲載されました。これを見た8名の読者より次回はいつ、どこで開催されるのか、との問い合わせがあるなど、反響が大でした。

イースト情報紙　2011年2月11日付

いきいきシニアライフ

～コミュニティカフェで楽しい携帯教室～

NPO法人あびこ・シニア・ライフ・ネット（アシラネ）主催

参加者同士で教え合い

「パソコン教室」「料理教室」など、様々な教室がある中、全国初の試みとなる「コミュニティカフェでシニアケータイ教室」が我孫子市から誕生。

デジタル機器は苦手だけど、教室に通うのも抵抗があるという方に是非オススメ。この携帯教室は講師と生徒ではなく、まるで友人と過ごすかのようにお茶とケーキを楽しみながら、しっかり操作も学べるのだ。

2月1日、この日の参加費用は飲食代の500円。「お茶で乾杯してから始めよう」と、明るいムードで教室がスタートすると、参加者が一斉に携帯電話を取り出す。今回のテーマは「ビデオ撮影」の機能を生活に役立てようというもの。

例えば、介護の場面で気になる様子を担当医師に伝える際、口で説明するよりも携帯電話で撮影したビデオ映像を見せれば、医師にもわかりやすく便利だという。参加者からは「なるほど」と声があがり、皆でまずはビデオ撮影モードにするところから始まった。

便利な携帯電話をよりよく活用し、生活に取り入れて欲しいとアシラネ事務局担当の秋元五郎さん。「2時間楽しく遊んでいただけたら」と、終始賑やかな「教室」だった。

月に1度の楽しい教室、お気軽に参加してみては。

問 TEL 090-5213-2240
e-mail akimoto56@nifty.com

NPO法人アシラネ
事務局　秋元五郎

東葛まいにち紙　2011年2月11日付

（7）　2011年（平成23年）2月9日（水）　東葛まいにち

「携帯をもっと手軽に使えたら」

お茶しながら勉強会

アシラネPC講座

携帯を三に検索に余念が無い
お茶者

高齢者や障害者向けに
パソコンの指導や日常生
活の不便を解消する便利

年などの地域社会貢献活
動を行っている「NPO
法人あびこ・シニア・ラ

イフ・ネット（アシラ
ネ）」は1日、「コミュ
ニティCaféでシニア
ケータイ教室」と題して、
高齢者向けの携帯教室を
全国で初の試みとして実
施した。

アシラネは、独立行政
法人福祉医療機構（厚生
労働省の外郭団体）の助
成事業「モバイルシニア
ネット事業」※に、千葉
県から唯一参加し、昨年
10月から我孫子北近隣セ
ンターで3回、「楽しい
ケータイ活用術講座」を
開いた。
20人ほどが参加して学

んだが、携帯は機種によって使い方が違うので、「まごまごする」感じだった」という。そこで、「講しみながら少人数でお茶しながら教え合ってはどうか」の案が出て今回、「Caféで携帯を学ぼう」を企画した。この日は携帯を生活に取り入れようと、携帯カメラでの動画の取り方や予定をアラームで知らせてくれる方法などを和気あいあい習得していた。日時は決まっていないが今月にあと2回実施する予定。

この結果の報告を3月

２－２　ＮＰＯ法人きんきうえぶ

●楽しいケータイ活用術講習会（上級編）10/23（土）13:00～16:00
内容：「魔法のｉらんど」でのケータイサイト作成

「ケータイから情報発信を！」というテーマで、地域でサークル等の活動をするHP作成経験者が集まり、合計１０個のケータイサイトが出来上がりました。
それぞれ、QRコードを利用し、チラシ、名刺、HP等でサイトの紹介をし、新しい情報発信の形を作ることができました。

＜楽しいケータイ活用術で立ち上がったサイト＞

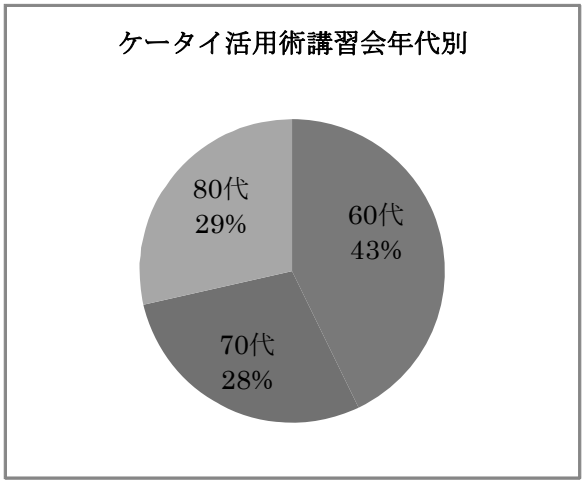
・モバイルシニアネットプロジェクト“楽しいケータイサイト活用術”by きんきうぇぶ
（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?l=keitai55）
・街かどデイハウスきんき茶ろん　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=kinkisalon）
・足からの健康をお届けするアイアイクック　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=iikook）
・楽しいこと、美味しいこと大好き！　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=kiki2739）
・maririnで～～す　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?l=maririn_20101111）
・bellのにゃんこ絵　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=bellbell_2&P）
・スマイルパソコンクラブ　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=sumapaso）
・トールペイント教室　あとりえ　花かのん　http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=hanacanon）
・みちみち日記　（http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=senoomi）
・ゆりあの家族　http://ip.tosp.co.jp/i.asp?l=myaarin

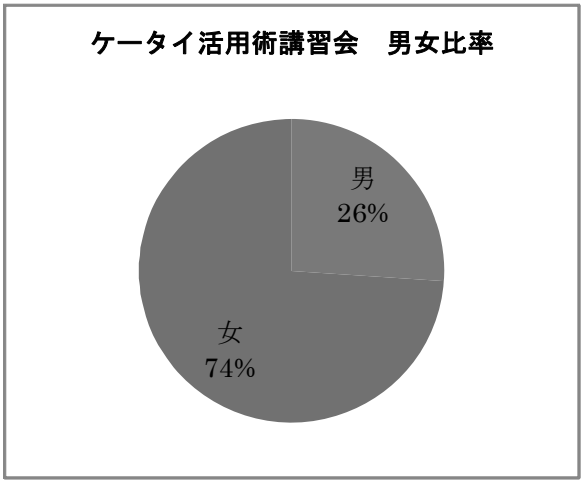
●楽しいケータイ活用術講習会（初級編）

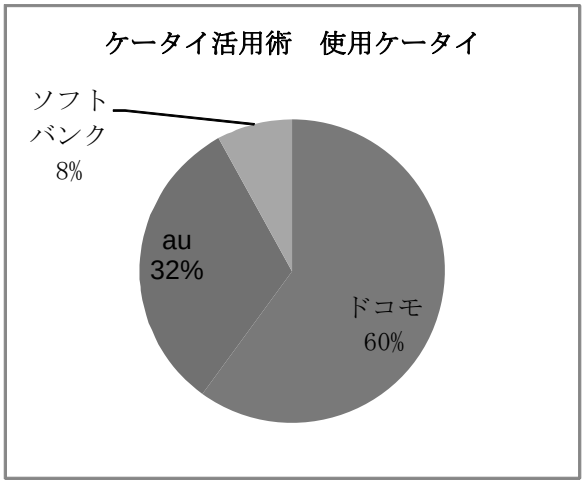
1/15(木)、1/17(土)、1/19(月)、1/31(月)　13：00～16：00
内容：「知らないともったいない便利な機能」「“災害用伝言板サービス”の体験」

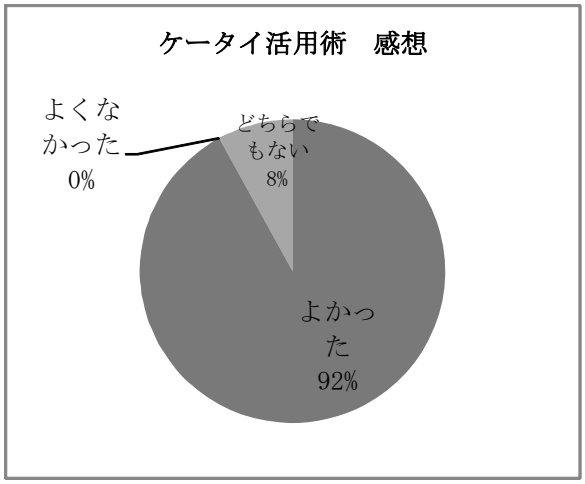
通話のみの方はメールや写真、メールができる方は赤外線通信やQRコードへそれぞれステップアップに繋がるようグループを分け実践をしました。
スタッフKさんは、「パソコンと違いサポートする側も機種の違いに戸惑い、機能が付いていない携帯なのか、設定を変えていて使えないかが判断できないところがあり大変でした。」と。講習会前と後にプチミーティングをし、スタッフ間での情報共有を心掛けました。

＜アンケート結果＞









・赤外線通信が理解できた
・やる気はありますが、頭の方がついていけない
・知らないことを教えて頂くスタッフが多いので納得いくまで習うことができた
・通話、メール以外使用をしていなかった、知りたいことが多いので、1 回では無理
・疑問に思っていたことをいろいろ分かりやすく教えて頂きました
・時々講座を開いて下さい
・とても楽しく時間がすぐ終わってしまった。まだ理解ができていない。また講座を開いて下さい
・復習の講習会を受けたい　　・インターネットをもう少し勉強したい
・いろいろな機能があることを知りました　・親切丁寧に指導を受けました
・災害伝言板がわかった
・ゆっくりケータイに向かう時間が持てた
・取扱説明書ではわからないことが多いが、講習会でポイントを知ることができた
・　路線検索ができるようになった。バス停の QR コードに挑戦してみます

＜スタッフ感想＞

身近な物と言う事もあって、一生懸命されていた感じでした。私たちの年代でも、何度も繰り返して覚える事が多いので、数時間説明しただけでは、内容が半端になるかなと思います。3～4 回連続で参加出来ると、理解度が上がるのではないでしょうか。各携帯メーカーさんの協力等、いずれできると良いですね（S さん）

出かけることが多い方は、とても便利だと利用されていることがほとんどですね。パケット放題という方は少なく、インターネットの楽しさを感じてもらうのは難しいですが、今回のメール体験を通して、楽しくメールを使っていただけるとうれしいです。楽しそうにしていただけた時は私もうれしくなりました。怖がらずにどんどん活用して欲しいと思います。(H さん)

ある年齢以下の人では、当たり前にできていることが、年配の人には、そうでないということを実感しました。いろいろ便利に変えられるということも、ご存知ないまま、不便だと思いながら、使い続けているケースもあったようです。一緒にあれやこれや、言いながら操作することが携帯電話の習得に一番いい方法だと実感しました。(Y さん)

当初メールすらできない方が参加されるかと思っていましたが、ほぼ全員の方が電話をかけたりメールをしたりは日常使用されているようでした。いつもと違う使い方が学べればいいなぁということで参加された方が多いように思いました。自分のアドレスを調べたり、赤外線通信や WEB サイトでの路線､地図検索は今まで知らなかった機能として好評でした。（K さん）

●楽しい iPad 講習会（上級編）

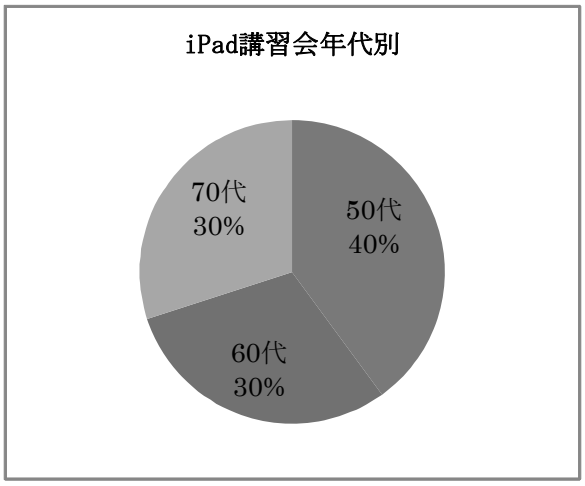
2/17(木)、2/19(土)　13：00～16：00
内容：「iPad って何？？」「iPad 体験（地図、アルバム、インターネット、本を読む、新聞を読む、レシピを見る、メール活用など)」

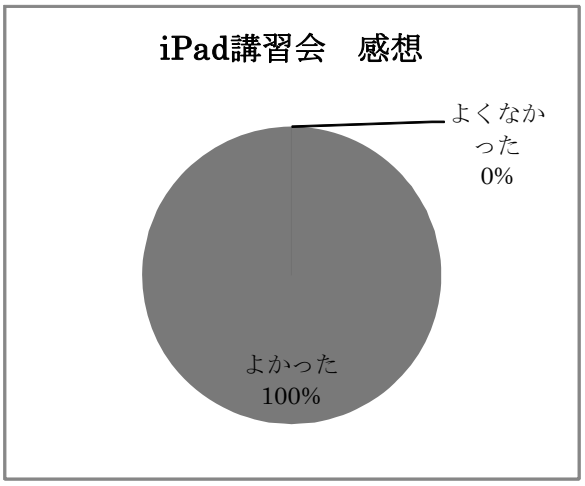
ニュースや新聞で話題になっている iPad って、一体何ができるの？便利で使いやすいのなら買ってみたい、という方が実際に触って体験されました。初めは恐々でしたが使っているうちに慣れ、これなら私にもできそう！と、それぞれのニーズを思い描き堪能されていました。

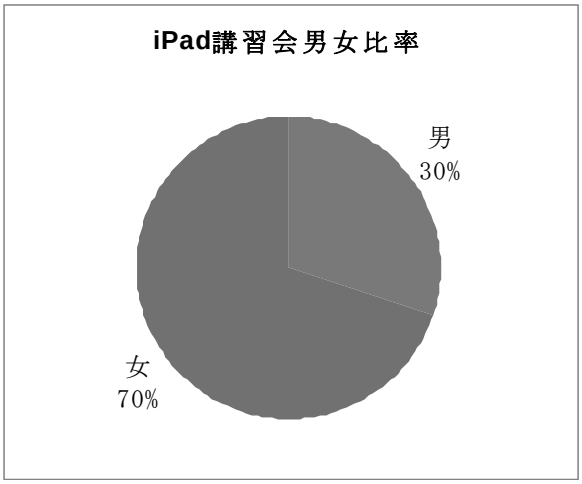
料理レシピを動画で見ています

スタッフ勉強会の様子

＜アンケート結果＞







・いろいろ知れてよかった
・難しいものだという印象を持っていたのですが、とても親しみやすいものだということがわかった
・いろんな情報が、iPad、1台ですぐに手に入ることがいい
・専門用語が多くて理解しにくい点がありました
・本体が思ったより重い
・楽しみが無限にありそう
・わかりやすい講習会でした
・紙の新聞のよさ、電子新聞の良さが比較できた
・iPhoneも知りたい
・私には難しいかな？
・まったくわからなかったので、お陰様でよくわかりました
・慣れるのに時間がかかりそうです
・スマートフォンについても教えて欲しい
・わかりやすい講習会で、面白かった
・本や新聞が、思っていたより見やすかった

ｉＰａｄ講習会　スタッフ感想

パソコンよりも使いやすく、受講者の方が操作にとまどったり、一人の人に時間をとられるということがほとんどなかった。買おうかどうしようか、迷っている人には、どんなことができるかのイメージがつかめ、判断するためのいい機会になったと思います。
世の中本当に便利になったものだと改めて感じました。(Y さん)

使い方を覚えて、楽しそうにされていました。画面を（画面というのか？）手でさわることに慣れていないためか、タッチするのにも、ツメの先でそ～～っとや、指の先でそ～～っとと、言う感じでうまく反応がでないことが目に付きました。指への力の入れ方や、触るのがこわごわでした。これを機会に、楽しむことを増やしていただけると嬉しいですね。（H さん）
年配の方には、画面が小さいけれど、拡大ができるのがとても便利だと思います。皆さん、とても興味津々のご様子でした。初めてだったので難しいと思われた方もあるようですが、講習会とかがあると、費用が問題だとは思いますが、もっと親しめるのではないかと思います。
スマートフォンもｉｐａｄも、触ってみたくなると言う興味と、人に見せながら、わいわいしながら使えると言う楽しさもあると感じました。(Y さん)

●楽しいケータイ活用術講習会（フォロー編）

毎月 1 日と 15 日にケータイ講習会のフォロー講習を実施しています。
家族は「覚えろ～覚えろ～」って言うけど、教えてくれない・・・という方が多いです。
繰り返しの練習が必要ですので、メル友になって“特訓？”をしています。
この**“メル友の特訓”は、とても効果があり**、全くメールが打てなかった方が、顔文字や写真添付まで出来るようになります。

待受画面は、“氷川きよし”

２－３　ＮＰＯ法人 湖南ネットしが

平成２３年２月１２日
ＮＰＯ法人 湖南ネットしが
理 事　中 村　勝 美

「楽しいケータイ活用術」講習会を終えて

実 施 機 関	ＮＰＯ法人 湖南ネットしが
実 施 期 間	２０１０年１１月１３日　～　２０１１年２月１２日
実 施 会 場	２会場（野洲ＩＴスクール、湖南市サンヒルズ）
実 施 回 数	７回（１回当り３時間、延時間　２１時間）
講師・スタッフ数	６名
講習受講者総数	７０名
１回当り平均受講者数	約１０名

総 括

私達は、シニア生活情報アドバイザー認定者による組織団体です。普段は、シニアの方を対象にパソコン教室をメインで実施し活動しています。

スタッフは日頃からシニアの目線で接していますので今回の講習会の受講者に対して気がねなく和やかな雰囲気で実施することが出来ました。

以前の携帯電話講習会では特定の携帯電話機種を受講者に貸し出して実施した為、教える側はテキストに沿ってスムーズに進行出来ましたが受講者は自分の所持している携帯で教えてほしいようでした。今回は各自持参の携帯であった為、教える側の難しさを痛感しましたが受講者は楽しく学ばれ質問を頻繁にされて活気がありました。この講習会の初回はスタッフを配置しただけでしたが以降の講習会では講師及びスタッフと事前打ち合わせをして携帯３社別にスタッフを配置して対応しました。また、受講者が多い時はスタッフ増員して実施しました。

講習会で、初級、中級と分けて実施しましたが、中級の内容を初級でどうしても伝えておきたいことがありましたので、重複して教えて実施しました。

携帯は持っているがメールや写真添付メール等のしかたが解らない年配者がまだまだ多いように感じられました。このような機会を設けてより多くの方に携帯電話の楽しみを伝えコミュニケーションの輪を広げていきたいものです。

講師・スタッフの携帯電話講習会に対する感想は下記とおりです。

K．Mさんの場合。

野洲会場での開催には大勢の方が受講されて良かったと思います。受講者が 15 名となると、最初はバラバラに座っておられたので、メーカーが違う上に、機種も同じではないので、一つの操作を教えるのも大変でした。3 回目はまとまって座っていただいたので、やりやすかったと思います。それでも　機種が違うと、同じことをやろうとしても、結局はその目的のところにたどりつくのに四苦八苦で大変でした。

ひとりの人の携帯にかかわっていると、別の人には待ってもらうことになり、ちょっとした設定でも皆さんに解ってもらうのには相当時間をとられます。ひとつは、ほとんどがシニアの方たちなので、理解するのに時間がかかるということもあります。その結果、3 時間という時間があっても、ほんの基本的なことしか教えられないのが現状です。でも電話機能しか利用していなかったのが、メール送信、電話帳登録、写真をとる、そして添付してメールなどできるようになれば、満足されているのかもしれません。

中級で携帯サイトの利用ということで、電車の時刻表調べや天気予報を見たりしましたが、この操作はお金がかかるんだろうと心配されている方もあったので、浅くしかできないと感じました。

教室の雰囲気は和気あいあいとして、楽しげにしておられるようだったので、良かったと思います。

たまたま一人暮らしい年配の男性の方同士で、電話やメールのやりとりをして頂いていたのですが、お互いの電話番号がわかったので、帰り際「よかったらまた電話して下さいよ」と話しかけられておられました。

携帯電話講習会とは関係ないのですが、そういう繋がりのきっかけになったのは嬉しいです。

最後に 15 名を一度に集めての講習会の場合は、講師 1 名とアシスタントが 3 名は必要だと痛感しました。

H．Mさんの場合。

設定や電話帳の登録は、本人がやっているのが予想通り少なく、初歩から順序良く丁寧にしないと、理解してもらえないと感じました。受講態度は非常に熱心で、ご年配の方にもかかわらず、集中して学んでおられたのには感心しました。

みなさん、一つの使い方をマスターするのには時間はかかりますが、着実に操作できるようになっていました。休憩の時間をもう少し長めにして携帯電話をどのように使われているか、聞いておいた方が良いと感じました。

講習で学んだことを使ってお孫さんに初メールを送ったところ、すぐに「おばあちゃんすごい。メール送れるようになったのね。またメールしてね。」という返信がきました。家族と新しいコミュニケーションが出来、家に居ながらにして外の世界との繋がりができるようになりました。使って

楽しいスキルの習得のお手伝いが出来て、私もうれしくなって講習に来られたおばあちゃんに元気をもらいました。

受講を申しこまれて、会場まで来られた方を対象の講習ですので、みなさん、意欲的で熱心に受講されていました。年をとっても新しい知識を勉強する意欲には、頭の下がる思いです。私も受講された方に負けないように、いつまでも意欲的に新しいことに挑戦していきたいと思いました。

M．Kさんの場合。

昨年 11 月より、野洲 IT スクールにて行いました。携帯講習会は 3 名のスタッフにて、約 15 名位のシニアーの方に、テキストに沿って講習を進めていきましたが、持参される携帯電話のメーカーの機種がまちまちのため、取り扱いの説明が難しく、時間がかかりましたが、日常に、家庭に帰っても、使用出来ますように、何度もスタッフが細かく、丁寧に親切に分かりやすく、機種別におしえました。内容的には、マナー設定、電話登録、メールの使い方等いろいろ日常に役に立つ内容を重点に、進めていき、初級・中級と講習内容をダブらせながら、すすめました。会場の雰囲気は、楽しく、わきあいあいと、隣同士の席の方や、同じテーブルの方が仲良くなられ、メル友ができ、地域の和作りにお役に立てたかと思います。講習を終えられて会場を出られる時には、みなさんは笑顔で帰られ、次回の講習も申し込まれるほどでした。反省点は持参される携帯電話がテキスト通りの電話ばかりでは、なかったのでテキスト通りにすすめなかった。テキストとは別にその日の予定を細かく作成するべきと感じました。

Ｆ．Ａさんの場合。

これまでと違う点は、1 社の電話ではなく、「どこの会社の電話でもお教えします」ということで、いろんな会社、メーカーの電話を触らせていただけたことが、サポートする側には、良い経験となり、受講者の方にも良かったように思います。

携帯電話の「使い方が難しい」と言われる世代の方々は、ご自分の電話がどこのメーカーか、どこの電話会社か、ご存じない方もいらっしゃいます。「どこの電話でもサポートします」という講習会の受講者募集に、先ず喜んでいただけました。どの回も受講者の方がたくさんおいでくださって、和気藹々と 3 時間過ごして下さいました。

「半分ぐらいしか分からなかったけれど、楽しかったぁ」と、終るやいなや、次の回を申し込んでくださった方。「明日になったら忘れるかも知れないけれど、とにかくおもしろかった」と、いろんな電話機能に挑戦してくださったご年配の方々。熱心な方々にご参加いただき感謝するばかりです。

ゆったり講習を受けていただけたのは、大きな文字のＡ4 のテキストを配れたことです。急いで覚えていただく必要がなく、それぞれの方にサポート側がどのページに説明が載っているかお伝えできたし、

書き込みが出来るところには、太いペンで記入してあげることが出来ました。遠くから来られる方で、早く来られて方には、一番やりたいことを繰り返しやって覚えていただき、「講習の前にワクワク」して頂きました。

ご家族の電話番号だけを持って来られた方に、騒がしくなるけど、お電話をかけて頂いたところ、自慢げに「あのなぁ、携帯電話の講習にちょっと出てるんや」とおっしゃってもらえたことです。かけた先のお嬢さんが「父は、電話を持って 3 年ですけれど、父から電話をかけてもらったのは、これが初めてです」と見えないご家族ともお話できて、本当に携帯電話って、いいものだなあと思いました。携帯電話の便利さ面白さをお伝えできて、楽しい講習会でした。

H．Yさんの場合。

初級の携帯電話講習会に　スタッフで参加しました。

受講者は高齢の方ばかりでした。まず、初めに「マナーモードの設定方法わかりますか？」から始まったのですが、出来ない方が半数おられました。聞いてみると、マナーモードがわからないから「電車に乗るときなどは　電源を切る。」とのことでした。そして、びっくりしたのは「電話が鳴ったら困るので出かけるときは、電話を持っていかない」でした。

電話をかける、受けるは、家庭の電話と同じなので問題はないのですが、やはり最低限の使い方を教えてあげることの大切さを実感しました。

参加して下さった方が、うれしそうに帰っていかれたのを見てこちらもうれしくなりました。

２－４　　モバイルシニアネットプロジェクト実施報告書

NPO 法人　花パソ　二宮　博子、竹内恵子

実施内容

	実施日	会場	時間	参加人数	内容
第一回	11 月 8 日	伏見区役所第一会議室	13:30～16:30	7 名	初級
第二回	11 月 12 日	伏見区役所第一会議室	13:30～16:30	4 名	初級
第三回	11 月 19 日	伏見区役所第一会議室	13:30～16:30	8 名	初級
第四回	11 月 26 日	伏見区役所第二会議室	13:30～16:30	7 名	初級
第五回	12 月 10 日	伏見区役所第一会議室	13:30～16:30	6 名	初級
第六回	12 月 13 日	伏見区役所第一会議室	13:30～16:30	6 名	初級
第七回	12 月 28 日	青少年活動センター	11:00～12:30	2 名	初級

＊備考：第二回目の参加者については、当初のご予約 8 名の内 3 名が前日、1 名が当日に日程変更をご希望され、いずれも第三回目以降に受講されました。12 月 28 日に関してはどうしても教えてほしいという強い要望があったため、個人的にボランティアで教えました。

所感

今回の実施に先立ち、当教室に於いて事前アンケートを実施したところ、多くの方が電話又はメールのみの使用でしたので、内容を初級に絞りました。
受講者の中には携帯電話は持ってはいるけれども掛かってきた電話に出るだけで、自分からは掛けられないという方もお一人いらっしゃいました。
また、メールも受信したものを見るだけで、自分からは送信したことがない方も数名おられました。電話帳も子供さんやお孫さんに作っていただいている方が大半でした。

参加者のご要望も出来るだけ取り入れて実施しましたが、それぞれの方に対応しようとして他の方をお待たせしてしまったり、計画していた内容を充分に伝えきれなかったりしたことが反省点として残ります。

「これで自分から電話をかけることができます！」
「初めてメールを送ることができました！」
「こんな便利な機能があったことを知らなかった！」
「初めて携帯電話のカメラを使いました！」

参加して下さった方がそれぞれに新しい使い方を覚えて喜んでくださいました。
テキストもご自身の携帯電話での操作方法等を書き込んでいただき、喜んで持ち帰っていただきました。
このプロジェクトのお陰で私達講師にとっても新しい携帯電話についての発見が多々あり、受講者の皆さまに喜んでいただけたことが何よりも嬉しく思いました。
シニアの方々に生活をより楽しめる活き活きとした携帯電話の使い方を、これからも機会ある毎に伝えていきたいと思います。
このプロジェクトを企画し実現させて頂いた皆さまに感謝申し上げます。(二宮)

今回の講座のように各携帯会社や機種などが様々ですと一回の講座で講師 2 人が対応できるのは、せいぜい 5、6 人の方々ぐらいですだと思いました。
おひとりおひとりに満足していただくのには多人数の講座は難しいと思います。

広報活動でショックだったことがあります。

こちらが良かれと思って、「便利な機能や簡単な方法を教えてもらえますよ」と薦めていた時です。シニアの方は『今のままで十分です。今以上新しいことは覚えられないし、却ってややこしくなる。』とおっしゃいました。それをお聞きして改めて独りよがりはだめだと実感しました。と同時に、そのように思い込まれている方に少しでも今より使いやすい方法を知ってもらうためにどのように接するかなど考えさせられました。

このような機会を与えて下さったプロジェクトの皆様にお礼を申し上げます。(竹内)

広報活動について

- ◆ チラシ印刷　3,000 枚＋追加 100 枚程度
- ◆ 10 月 22 日からポスティング開始。・・・・・・ 京都市伏見区、桃山御陵前付近～丹波橋駅あたりまで。花パソスタッフ延べ 10 名
- ◆ 10 月 24 日　京都市伏見区の藤森神社のお祭りにてチラシを手渡し・・・・ 馬場他協力者 3 名（京都市伏見区社会福祉協議会の方など）
- ◆ 11 月 1 日、新聞社 6 社へファックスで掲載の依頼。・・・ 全社掲載されなかった。
- ◆ 11 月 16 日付、読売新聞購読者が掲載内容をパソコンで検索され、1 名受講されました。

※どのような講座をしていくのか、講師陣もかなり悩んだようです。ただ、HP 作成講座はパソコンのスキルが必要だということもあり、講座としては受講者の募集が難しいとの結論になったようです。携帯講座をするにあたり、いろんな携帯電話を試したり、事前学習をしっかりされたようでした。ただ、実際の講座となると皆さんそれぞれご希望があったり、機種が違ったりとかで立派なテキストがあるにもかかわらず、参加者おひとり、おひとりに時間がとられたようです。

丁寧に対応させていただいたおかげで参加者の方々には喜んでいただけたようです。

基本的にはこのような使用方法の教え方については各メーカー様が対応されるのが一番だと思いますが、販売店へ行かれた方は「若い人はゆっくり教えてくれない」「馬鹿にしたような態度で接する」「何を言っているのかわからない」というようなシニアの方たちの声が聞こえました。

シニア専用窓口のようなものがあるといいですね。広報についてはチラシを 3000 枚ほど印刷してポスティングとちょうど秋祭りがありましたのでその会場で手渡しをしました。普段の花パソのパソコン教室の生徒さんよりも一般の方たちに知っていただきたかったからです。（馬場）

２－５　松本シニアネットクラブ

平成 23 年 1 月 21 日
松本シニアネットクラブ

始めに

助け合いながら学び、交流を楽しみながら実践する”との趣旨のもと、松本市が高齢者 IT 支援の一環としてコーディネートを行ない２００３年“松本シニアネットクラブ”は誕生しました。初心者向けのワード、インターネットなどの無料講習、上級者向けのシニア情報アドバイザー資格取得試験を展開してきました。本年度は会員１５５名で地区ごとに８グループに別れ、それぞれが独自色を出しながら、わきあいあいと学んでいます。　パソコンを通じ「“良い出会い”を見つけ、そこから“良い交流”がある」ことを何よりも大切にし、旅行や撮影会など、会員同士の親睦を深める行事も積極的に催されています。

会員の連絡、情報交換には、パソコンからのインターネットを主体に、メールなどでコミニケーションをとってきましたが、全会員がインターネット接続の環境が有りません。高齢者は携帯電話は、皆さん持参しているので、この携帯電話を有効に利用することで全会員が同じテーブルで会話を図るため、本年度は、モバイルシニアネットプロジェクトの　楽しいケータイ活用術　をテキストに　11 月 21 日午前と午後の 2 部門での講習会を開催しました。

成果報告　その１

午前の部は、主にシニア情報アドバイザー有資格者を対象に、9 名の皆さんで、東京から近藤則子講師と平野先生を招き、情報創造館 IT 教室で開催し、全員が携帯サイトのホームページを開設しました。同時に松本シニアネットクラブのホームページにも、携帯サイトからアクセツ出来るように、追加をして、会員の皆さんにより情報の伝達をスムースにできました。

新設された携帯サイトからの見られる情報

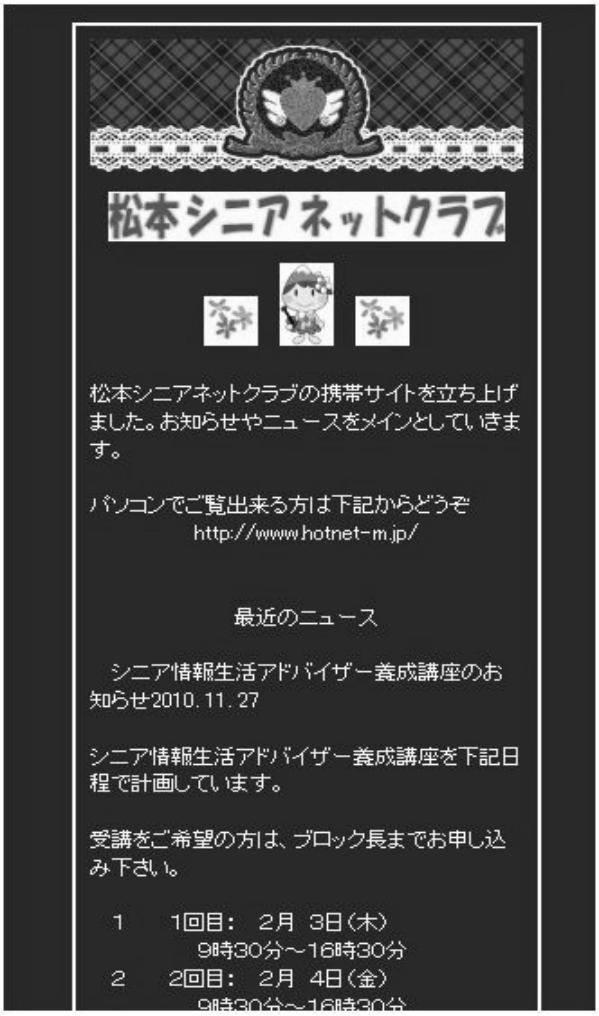
参考）クラブの HP サイトは→　　http://www.hotnet-m.jp/

成果報告　その２

午後の部は会員から応募した皆さんを対象に 9 名の講習会に、午前中のアドバイザーを含めて 14 名の講習会でした。午前中からのアドバイザーは、近藤講師と平野先生の講義の内容を一般参加会員の皆さんの補助をしながら、全員が携帯サイトを構築する試みを実施しました。

写真は講習会の午後の部の会場風景と終了後の記念撮影

講習会での成果の一部



以上　中野記

２－６　NPO 法人シニアＳＯＨＯ普及サロン・三鷹

モバイルシニアネットプロジェクト実施報告書

NPO 法人シニアSOHO普及サロン・三鷹
iPad 研究会　山根　明

シニアSOHO三鷹は、iPad 無料体験会を 8 回実施し、参加者数は 149 名でした。会場は 4 会場共ご関係者様のご協力で無料で開放していただきました。

1．実施内容

	実施日	会場	時間	参加者	内容
第 1 回	11 月 15 日	東京ガスライフバル武蔵野ショウルーム	11:00～17:00	19	初級
第 2 回	12 月 13 日	東京ガスライフバル武蔵野ショウルーム	11:00～18:30	38	初級
第 3 回	12 月 18 日	東京ガスライフバル武蔵野ショウルーム	11:00～17:00	10	初級
第 4 回	1 月 22 日	杉並区立 ゆうゆう阿佐谷北館	13:45～14:45	12	初級
第 5 回	2 月 12 日	三鷹産業プラザ	13:00～14:00	10	初級
第 6 回	2 月 12 日	三鷹産業プラザ	15:00～16:00	12	中級
第 7 回	2 月 19 日	連雀コミュニティーセンター連雀地区住民協議会	11:00～17:00	28	初級
第 8 回	2 月 26 日	三鷹産業プラザ	13:00～17:00	20	初級

2．なぜ iPad 無料講座を行ったのか？

シニアSOHO三鷹は、会創立以来、「シニアに情報社会の恩恵を」という、おもいで活動してきました。
① 自分の知りたい地域、医療、福祉などの情報をインターネットで探す ② 仲間づくりのためにメールの使い方
③ 自分の趣味にインターネットを利用する
シニアが以上のようなことができるようにパソコンのお手伝いしてきました。

そのために ① 複雑なキー配置のキーボードでローマ字入力 ② 3つのボタンを操作する ③ 小さなマウスポインタで操作を指示する 等パソコン初心者が避けて通れない基本操作の指導にゆっくりやさしく繰り返し時間をかけてきました。

そこで昨年5月末に発売されたiPadに出会いました。パソコンをむつかしいとはじめからあきらめているシニアや多機能化した携帯電話を使いこなしていないシニアにとって iPad はシニアにやさしそう、これでシニアが情報社会の恩恵を受けられると私たちは確信しました。

三鷹産業プラザITルームでの地図検索

東京ガスライフバル武蔵野　武蔵野ショールームでの無料体験会風景

3. 無料体験会から見えてきたもの

ご参加の皆さんは約20分程度で iPad がすぐ使えるようになり、インターネット・地図やYouTubeを見ることを楽しまれました。

無料体験会の準備の中で私たちは、無料体験会のゴールを二つ設定しました。
① 参加することが楽しい体験会にすること ② 参加すると iPad を買いたくなるような体験会にすること
アンケートの結果は9割以上の方が楽しかった、約半数の方が iPadを購入したくなったとお答えになりました。その意味では当初の無料体験会のゴールをクリヤーできたと思います。

8 回の無料体験会の取り組みから見えてきたものは、① 「シニアにこそ iPad」であり ② シニアはきめ細かな対応ができる、「シニア iPad サポータ」が待たれていることです。

.

4. これからの活動

これからも私たちは地域のシニアにインターネットやメールが使える楽しさ・感動を提供して行きます。
そのために、① 無料体験会の成果を踏まえ ② シニアに iPad のやさしい利用法とアプリの研究を行います
③ アンケート調査や iPad 研究成果を公開していきます。
（三鷹 iPad 研究会 http://mitaka.web.officelive.com/）

２－７　　老テク研究会

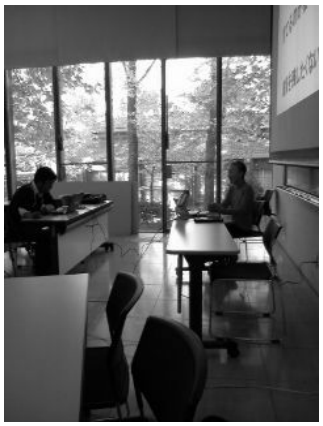
東京大学先端科学技術研究センターで開催した電話教室・セミナー
これからのモバイルサービスについて
講師　東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野　岡耕平先生

9 月 2 日､各地の電話教室の講師を担当する予定の高齢者むけのセミナーを開催しました。首都圏で活躍するシニアパソコン団体である、メロウ倶楽部、あびこ･シニア・ライフ・ネット、シニアＳＯＨＯ三鷹、シニアＳＯＨＯせたがや老テク研究会など４４名の受講生が参加してくれました。

岡先生からは、日頃　取り組んでおられる障害児、者への支援を、シニアライフに応用するヒントをたくさん紹介していただきました。
携帯電話のもつさまざまな支援機能、自動録音、音声読み上げ、カメラなどの使い方です。視覚障害者の人にとっては、携帯のテレビ電話のカメラは、人とつながることによって、いつでも　どこでも目になっていただけることや、道に迷った時には、自分がいるところを携帯カメラで撮影して、位置を教えていただいたり、服の色合わせなどを確かめてもらえたりできるのです。
岡先生の所属する中邑研究室が協力して作成された「障がいのある子どもたちのための携帯電話を利用した学習支援マニュアルー「あきちゃんの９９の魔法のポケット」という小冊には、障害のある子どもたちの学習を支援する機能、使い方のヒントが９９個も紹介されています。
ＰＣからも　無料でダウンロードができます。
（発行：あきちゃんの魔法のポケットプロジェクト、ソフトバンクモバイル）
デバイスアクセシビリティ（使えること）から、アクティビィティアクセシビリティ（したいことを支援する）が重要との考えには、深く共感できます。
具体的な　使い方の事例では、ｉＰｈｏｎｅや　ｉＰａｄの楽しいアプリも紹介していただきました。

メロウ倶楽部のウェブマスター　都留さんは、
「岡先生のお話は加齢とともに増えるであろう　見えにくい、聞こえにくい、覚えにくい　移動しにくいという誰もが直面する、こうした重複障害のある方もおられる、メロウ会員にぴったりのお話だった。今後の活動に活かせる　ヒントがいっぱいあった　」と、とても　喜んでくださいました。
若宮さんは「岡先生のお話には　ハートがあって、言葉や知識がすとんと、伝わってくる。高齢者や障害のある人へのやさしさが　あって、感激した！」といっておられました。若宮さんは、さっそく　EverNote をダウンロードしＰＣ，ｉＰａｄ、ｉＰｈｏｎｅ　で　情報共有しながら、
ケータイ小説「じじばば　花のパソコン道！」を書き続けるとはりきっています。
ｉアプリを自分で開発してみたい、という参加者もおられました。

携帯電話講習会
東京大学先端科学技術研究センターの講習会では、初級から上級まで、多くの方に参加していただきました。



魔法のｉらんど　鎌田氏　　ソフトバンクモバイル中山氏　　老テク研究会　大島氏

香林院　デジタル寺子屋のセミナー

老テク研究会が中心となって、女性のためのデジタル寺子屋「楽雲塾」を開始しました。会場は東京都内、広尾駅の近くにある香林院の食堂です。

世代間の情報格差の解消・高齢者の社会参加支援を目指して

PC,ケータイ、デジカメ、多機能携帯端末（ＩＰａｄ、ギャラクシー等)、そして地デジ。続々登場するデジタル機器の楽しい使い方を気軽に学べるデジタル寺子屋を普及させ、世代間の情報格差を解消し、高齢者の社会参加を支援することが目標です。近隣の高齢女性が集まってくださり、ＮＨＫ，日経新聞などの取材を受けました。

3 月 11 日　講習中に東北・関東大震災が発生しました。講師の 3 名はお寺に泊めていただき、帰宅難民にならずにすみました。

大津波警報が発令されています

机の下から携帯で家族にメール送信。

港区健康福祉センターの楽しいケータイ講座のようす

携帯電話で撮影した写真をデジタルフォトフレームに送ってみます。

開催したモバイルシニアネット講習会

会場	開催回数	のべ参加者数	取材等
東大先端研	１３回	１９８人	読売新聞　朝日新聞 時事通信
香林院	７回	７８人	ＮＨＫ 日本経済新聞 公明党新聞
戸塚　品川　松本	６回	６５人	ＮＨＫ　公明党新聞
合計	２５回	３４１人	

期間中実施したモバイルシニアネットの活動を紹介した老テク研究会の講演

日時	セミナー名	主催団体	参加者
１０月例会 10 月 21 日	シニア女性の立場で考える IT	高齢社会をよくする女性の会	４０
3 月 10 日	総務省地域情報化セミナー	（財）地域情報化推進協会	８０
3 月 8 日	ICT と地域の絆セミナー	山口県岩国市	３０
3 月 17 日	地域 ICT 人材育成セミナー	熊本県	８０

3　モバイルシニアネット
シンポジウム ＆ 電脳ひな祭り2011

３　モバイルシニアネットシンポジウム＆電脳ひな祭り２０１１

３－１　当日のプログラムと会場のようす

第１回　モバイルシニアネットシンポジウム　＆　電脳雛祭り２０１１

みんなでつくろう！　高齢者の社会参加を支援する情報通信端末・サービス実施概要

期日　２０１１年３月３日（木曜日）１２：００―１８：００
会場　東京大学安田講堂　参加費　無料

★シンポジウム　プログラム★　　１３：３０－１７：００

１　開会講演　　実行委員会委員長
安田　　浩（東京電機大学教授　東京大学名誉教授）

２　報告　モバイルシニアネットプロジェクト活動概要
コミュニティリンク事務局長　　中西　　雅幸

３　講演＆交流　インターネットが変革する医療、福祉、介護の世界
Aging in Place（住み慣れた環境で老いること）を目指して
東京大学高齢社会総合研究機構教授　　辻　　哲夫氏
世田谷区の介護家庭から　　老テク研究会　大島 眞理子氏　高崎　　廣氏
技術協力　社会福祉士　平野　　貴大氏

４　モバイルシニアネット活動先進事例発表
１　満員御礼！ｉＰａｄ無料体験会
シニア SOHO 普及サロン・三鷹ｉＰａｄ研究会代表　　山根　　明氏
２　大好評！Galaxy Tab と楽しむ春の鎌倉
パソルーム代表　　柴田　　和枝氏
３　コミュニテイ Café でケータイ教室
あびこ・シニア・ライフ・ネット理事長　　佐々木 敏夫氏

５　シニアは ICT の何に困っているの？　調査報告
（株）NTT データ　ICS 研究会　　島田　　孝宜氏

６　パネル討論　高齢者の社会参加を支援する情報通信端末・サービスとは？
パネリスト　メロウ倶楽部幹事　　若宮　　正子氏
NTT ドコモ　プロダクト部第二商品企画担当部長　　山口　　文久氏
富士通（株）パーソナルマーケティング統括部長　　大橋 慎太郎氏
コメンテーター
高齢社会をよくする女性の会理事長　　樋口　　恵子氏
総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課長　　谷脇　　康彦氏
パネル討論コーディネーター
介護福祉情報学会代表理事　　高橋　　紘士氏

★電脳雛祭り★　　１７：００ー　１８：００

１　デジタルテレビの新しい楽しみ方

三菱電機京都製作所営業部長　福代　淳一氏

２モバイルシニアネット遠隔講習

大阪と東京　きんきうえぶ理事長　寺田 美哉子氏

３　日本舞踊　　友情出演　　山村　昇湖氏（服部 真湖）

演目　うれしいひなまつり　さくらさくら

４　中国北京の小学生とオンライン交流

デジタル寺子屋楽雲塾　三好 みどり　葛西　恵子　生田　美子

中国北京船星翻訳有限公司

司会　モバイルシニアネットプロジェクトコーディネーター　近藤　則子

★特別展示★　安田講堂３階回廊　　１２：００ー１６：００

江戸時代の雛人形や酒田市のつるし飾り「傘福」をデジタルメディアで楽しもう！

展示協力　（株）NTT ドコモ　富士通（株）　三菱電機（株）

Apple Premium Store

山形県村山総合支庁産業経済部観光振興室　（社）山形市観光協会　山形市

本間家旧本邸　（財）本間美術館　（財）致道博物館　荘内神社

御菓子司小松屋　　山形県庄内総合支庁内庄内観光コンベンション協会

酒田市商工会議所

助　　成　独立行政法人福祉医療機構　平成２２年度社会福祉振興助成事業

後　　援

（社）情報処理学会　（社）電子情報通信学会　（社）電子情報技術産業協会

日本福祉介護情報学会　日中文化交流協会　東京大学高齢社会総合研究機構

（財）マルチメディア振興センター　ブロードバンドスクール協会

ＩＣＳ研究会　早稲田大学 WBS 研究センター ソーシャルアントレプレナー研究会

特別後援　日本電信電話（株）（株）ＮＴＴドコモ　富士通（株）　三菱電機（株）

東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野

主　　催　特定非営利活動法人コミュニティリンク

シンポジウム当日のようす

３月３日　参加者　事前登録　３１２名　当日４２８名

実行委員長挨拶　　東京電機大学教授　東京大学名誉教授　　安田　浩先生

モバイルシニアネットプロジェクト事業概要

コミュニティリンク事務局長　　中西　雅幸

講演＆交流　インターネットが変革する医療、福祉、介護の世界

Aging　in　Place（住み慣れた環境で老いること）を目指して

講　　師　　東京大学高齢社会総合研究機構教授　　辻　　哲夫氏
映像交流　　老テク研究会　　大島 眞理子氏　高崎　　廣氏
技術協力　　平野　貴大氏

モバイルシニアネット活動先進事例発表

１　満員御礼！ｉＰａｄ無料体験会　シニア SOHO 普及サロン・三鷹

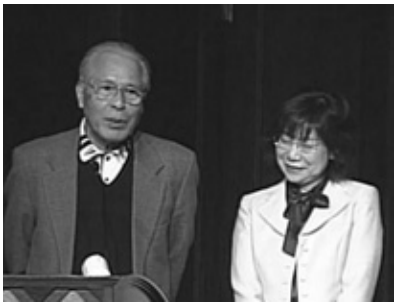
ｉＰａｄ研究会代表　山根　明氏
東京ガスクリエイティブ（株）東京ガスライフバル武蔵野
企画・ショールーム運営グループ　グループリーダー　長沼　挙氏
Apple Premium Reseller KICHIJYOUJI STORE　前川　政廣氏
応援メッセージ　三鷹市長　清原　慶子氏　代読　久保　律子氏

２　大好評！Galaxy Tab と楽しむ春の鎌倉

パソルーム代表　柴田　和枝氏　Samsung プロモーター　箕輪　照治氏

３　コミュニテイカフェでケータイ教室

あびこ・シニア・ライフ・ネット理事長　佐々木 敏夫氏　秋元　五郎氏
千葉県福祉ふれあいプラザ　統括責任者　小林　里美氏
応援メッセージ（社）長寿社会文化協会常務理事　田中　尚輝氏　代読　桑瀬 登起子氏



シニアは ICT の何に困っているの？調査報告

（株）NTT データ　ICS 研究会　島田　孝宜氏

パネル討論　高齢者の社会参加を支援する情報通信端末・サービスとは？

パネリスト　メロウ倶楽部幹事　若宮　正子氏
NTT ドコモ　プロダクト部第二商品企画担当部長　山口　文久氏
富士通（株）　パーソナルマーケティング統括部長　大橋 慎太郎氏
コメンテーター
高齢社会をよくする女性の会理事長　樋口　恵子氏
総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課長　谷脇　康彦氏
パネル討論コーディネーター　介護福祉情報学会代表理事　高橋　紘士氏

話題を呼んだ若宮さんの“世の中デバイド”

高橋先生と樋口先生

若宮氏

谷脇氏

山口氏

大橋氏

電脳ひな祭り　やまがたのお雛さま

題字　今林　節子氏　　写真提供　本間家旧本邸（山形県酒田市）

講演　デジタルテレビの新しい楽しみ方

講　師　　三菱電機京都製作所営業部長　福代　　淳一氏

３－１　当日のプログラムと会場のようす

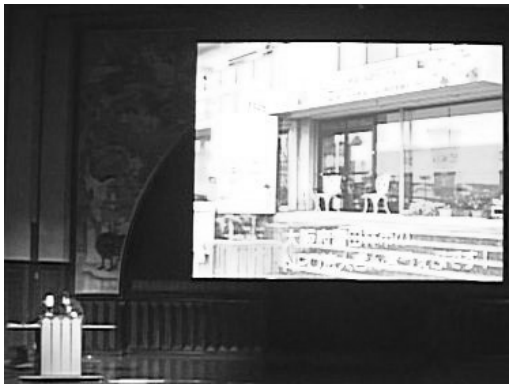
★特別展示★　安田講堂３階回廊　　１２：００－１６：００

江戸時代の雛人形や酒田市のつるし飾り「傘福」をデジタルメディアで楽しもう！

講堂内の廊下では、企業と高齢者団体とが、意見交換の場をもうけました。多くの高齢者や企業、行政の方々が参加し「高齢者に使いやすい情報機器やサービス」について議論しました。

モバイルシニアネット遠隔講習　大阪と東京での交流報告

きんきうぇぶ理事長　寺田 美哉子　　老テク研究会　近藤　　則子



写真はきんきうぇぶの街かどデイハウス　　左　近藤（司会）　右　寺田さん

日本舞踊　　うれしいひなまつり　　さくらさくら

友情出演　山村　昇湖氏（服部　真湖）

中国北京の小学生とオンライン交流　デジタル寺子屋“楽雲塾”

北京とモバイルインターネットで交流しました。

北京の小学生は、和服も
日本舞踊も初めて見たそうです。

都内の小学生も参加してくれました

モバイルシニアネットシンポジウム・電脳雛祭りの映像で、タイトルや若宮さんの講演や服部さんの日本舞踊、北京との交流、は youtube　から
公開しています。検索は　モバイルシンポ　あるいは Marchan1935

3－2　発表資料

モバイルシニアネットプロジェクト概要　コミュニティリンク

1

モバイルシニアネットプロジェクト　概要説明

楽しいケータイ活用講座の実践事例紹介

NPO法人コミュニティリンク

副代表理事兼事務局長　中西雅幸

2

NPO法人コミュニティリンク

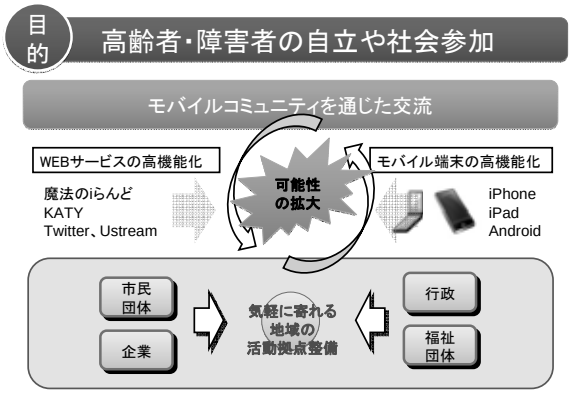
■設立年月日　２００８年8月２９日
■所在地　兵庫県宝塚市野上１－２－２０７
■代表者　代表理事　細谷崇
■常勤　７名

■活動目的　・ＮＰＯや市民団体のＩＣＴ支援による地域活動促進
・ＩＣＴの利活用による地域活性化

■事業内容　・モバイルシニアネット事業
・地域メディア事業（インターネット中継、映像制作・配信）
・地図を活用した地域情報発信事業（CHIZUBAN）
・ホームページ制作
・市民活動団体の業務支援ソフト開発
・講座、事務作業支援などの市民活動団体ICT支援

3

モバイルシニアネットプロジェクト



4

2010年度の活動内容

■楽しいケータイ活用術の発行

■楽しいケータイ活用講座の実施

■モバイルシニアネットシンポジウム
電脳雛祭り2011

5

2010年度の活動内容①

■楽しいケータイ活用術の発行

■楽しいケータイ活用講座の実施

■モバイルシニアネットシンポジウム
電脳雛祭り2011

6

2010年度の活動内容①

■楽しいケータイ活用術の発行

・印刷部数
⇒700部
・WEBダウンロード
⇒分割版：2,661ダウンロード
⇒一括版：1,961ダウンロード

- 携帯電話の便利な機能を幅広く紹介
- 「私」のケータイ用マニュアルが作れるテキスト
- 機種に依存しないテキスト
- 覚えた操作を記入出来るノート形式

7

2010年度の活動内容①

■楽しいケータイ活用術の発行

■楽しいケータイ活用講座の実施

■モバイルシニアネットシンポジウム
電脳雛祭り2011

8

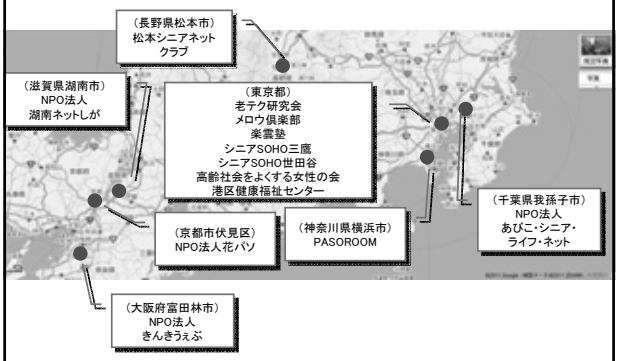
2010年度の活動内容②

■楽しいケータイ活用講座

- 楽しいケータイ活用講座　実施教室の講師育成
- 関東と関西エリアで、活動されておられるNPO・市民団体の皆さまとご協力して開催
- 2010年9月から講座を実施し、延べ570名（52回開催）
- 地域でのネットワークの構築と新たな展開へ
  ⇒事例報告にて。

9

楽しいケータイ活用講座　実施会場



10

実際の講座風景

■NPO法人きんきうぇぶ
（大阪府富田林市）

■NPO法人湖南ネットしが
（滋賀県湖南市）

■NPO法人花パソ
（京都府京都市伏見区）

11

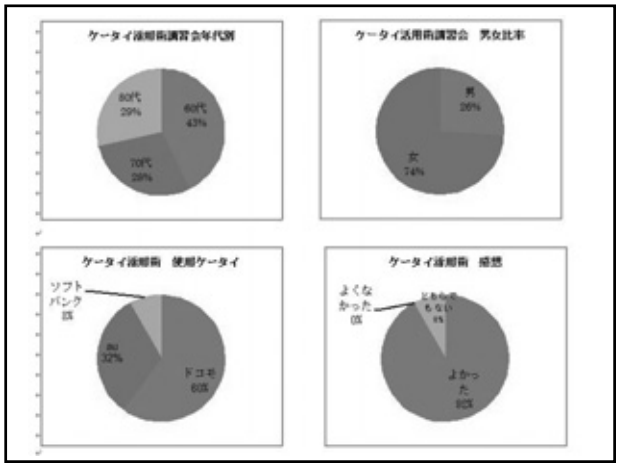
12

13

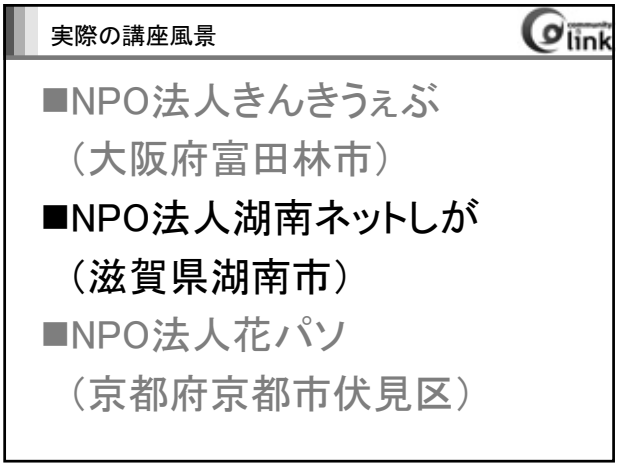
14

15

16



17

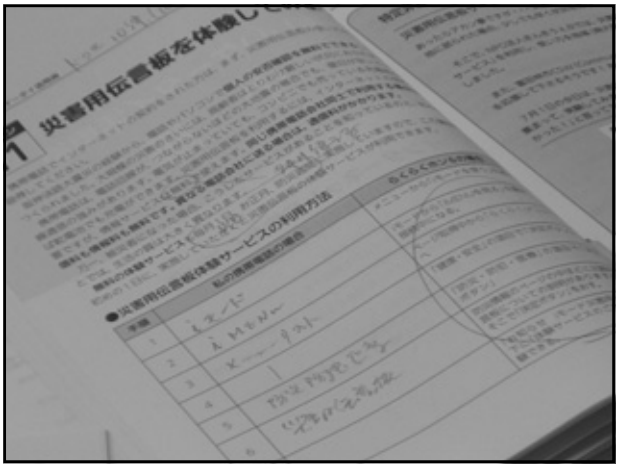


18

19

20

21



22

実際の講座風景

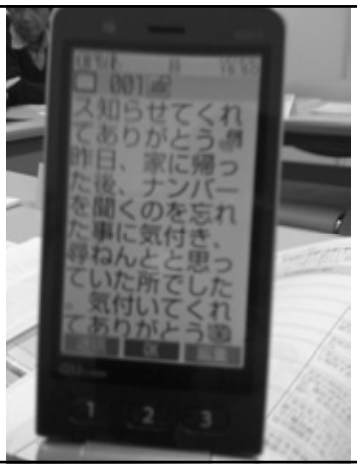
■NPO法人きんきうぇぶ
（大阪府富田林市）
■NPO法人湖南ネットしが
（滋賀県湖南市）
■NPO法人花パソ
（京都府京都市伏見区）

23

24

25

26



27

モバイルコミュニティ紹介①

●「魔法のiらんど」を使用

マーちゃんのシニア花のパソコン道

きんき茶ろんのケータイサイト
By NPO法人きんきうぇぶ

28

モバイルコミュニティ紹介②

●「KATY」を使用

パソルーム戸塚教室

手芸キット専門店「さくらほりきり

29

講座開催まとめ

- 継続していくこと！！
- 受講者同士のコミュニケーション

- 気軽に寄れておしゃべりして学べる場
- 少しでも覚えて行くことの喜び
- 企業とのタイアップ
- 僕たち世代が出来る事・・・
- 楽しさ・イキイキ！

30

ICTで地域は変わる

3－2　発表資料

モバイルシニアネット活動先進事例―満員御礼　iPad講習会　シニアSOHO普及サロン・三鷹

1

独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業
モバイルシニアネットプロジェクト

満員御礼！iPad無料体験会

～シニアはサポートを待っています～

2011年3月3日
東京大学 安田講堂
NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹
山根　明

2

これはシニアに優しそう

1. シニアSOHO三鷹は
   - ・シニアに情報社会の恩恵を
   - ・ミッションに活動してきました
2. シニア初心者教育11年の経験から
   - ・パソコンは覚えることが多すぎます
   - ・携帯電話も多機能化で使いこなしにくいです
3. iPadとの出会い
   - ・これはシニアに優しそう
   - ・シニアが情報社会の恩恵を受けられそう

2

3

見ることを楽しめます

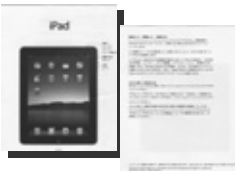
1. パソコンにくらべすぐ使えます
2. 指先だけの簡単操作で
3. 見ることを楽しめます
   - ・インターネット
   - ・YouTube
   - ・写真

3

4

シニアに使いやすい

1. 入力が苦手なシニアの初心者も
   - ・パソコンの知識がなくても
   - ・タッチだけで使えます
2. 取扱い説明書がハガキ大に
   - ・収められるほど使いやすい
   - ・画面が広く対象が大きく操作しやすい
3. パソコンとの連動が・・・
   - ・初期設定と同期はシニアに難しい



4

5

iPadで地域を元気なまちへ

1. iPad講座

2. iPad研究会

3. iPad無料体験会

5

6

無料体験会

開催日(2010年)	参加者数(名)	協力
11/15　12/13　12/18	19　38　8 (65)	東京ガスライフバル武蔵野 武蔵野ショウルーム
60分/回	定員10名/回	Apple Premium Reseller KICHIJYOUJI STORE

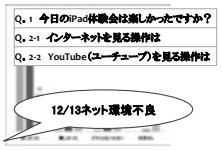
6

7

無料体験会
～アンケートからその1～

シニアはサポートを待っています

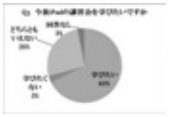
- 読売新聞（11/16朝刊全国版）の記事を見て出席（20%）
- 購入しても使いこなせない（28%）
- シニアにはきめ細やかな対応が
  ① 『シニアiPadサポーター』の出番
  ② 心強い『Apple Premium Reseller KICHIJYOUJI STORE』のサポート

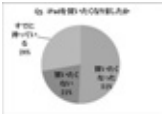


7

8

無料体験会
～アンケートからその2～





8

9

これからの活動

1. 無料体験会の成果を踏まえ
2. シニアにiPadのやさしい利用法とアプリの研究
3. アンケート調査やiPad研究会成果の公開

地域のシニアにインターネットやメールが使える楽しさ・感動を提供したい

9

10

三鷹 iPad研究会
http://mitaka.web.officelive.com/

10

３－２　発表資料

モバイルシニアネット活動先進事例―大好評！　Galaxy Tabと楽しむ鎌倉の春　パソルーム

1

大好評！
地域のパソコン教室受講生が Galaxy Tabと楽しむ鎌倉の春

株式会社パソルーム代表
一般社団法人全国優良パソコン教室協会パソコープ理事
柴田　和枝

2

タブレット端末っていったいどんなもの？

身近な道具として活用できるの？

友人との連絡や知りたい情報の収集に

持ち歩いて便利？

大きさや重たさ、使い勝手は？

操作は簡単？

シニアの身近なデジタル端末としてどう？

3

2011年2月 17日
Galaxy Tabを
始めて手にして
鎌倉を歩いた！

4

自己紹介

- シニア・ミセスを対象とした生涯教育・コミュニティ型のパソコン教室を運営
- 横浜市戸塚区（15年）と泉区（10年）で2教室
- 現生徒数　約200名
- 生徒平均年齢　62歳　女性7割
- 平均継続年数　3年
- 2007年、パソコン教室の同業者とパソコープを設立し、理事として運営に携わる。

5

午前10時鎌倉駅集合

↓

オリエンテーション

↓

サムスンプロモーターさんのご紹介

6

参加者プロフィール

Aチーム・・　9名　平均年齢66才
Bチーム・・　9名　平均年齢72才
Cチーム・・11名　平均年齢66才

参加者最高年齢　82才
参加者最低年齢　54才
男性4名　女性25名
通塾年数平均　4～5年以上

7

Aチーム

鎌倉駅→
英勝寺→
寿福寺→
鶴岡八幡宮→
小町通り(ランチ)→
江ノ電→
江の島ラグーン

地図:鎌倉ぶらぶら http://www.kamakura-burabura.com/

8

9

Bチーム

鎌倉駅→
ベンチでレクチャー→
本覚寺→
長谷駅(ランチ)→
長谷寺→
御霊神社→
江ノ電→
江の島ラグーン

地図:鎌倉ぶらぶら http://www.kamakura-burabura.com/

10

11

Cチーム

鎌倉駅→
江ノ電→
鎌倉大仏→
極楽寺→
稲村ケ崎(ランチ)→
江ノ電→
腰越→
江の島ラグーン

地図:鎌倉ぶらぶら http://www.kamakura-burabura.com/

12

13

「難しくて大変！」と言っている
75才の生徒さん

14

でも、動画が撮れた！
撮影：さきほど登場した女性

15

主に使用したアプリ

- Google検索（音声検索・文字検索）
- マップとナビ
  （GPS・目的地までの距離や道順・所要時間）
- ストリートビュー、コンパスモード
- プレイス（レストラン検索）
- カメラ（自分撮り・パノラマ撮影）
- ギャラリー（撮った写真の確認と削除）
- 電卓（昼食時の精算）

16

生徒さんの感想☺

- 新しいものに触れられて凄く楽しかった。
- 操作に迷いながらも楽しかった。
- 色々覚えるのは大変だけど、少しでも覚えることが出来て良かった。
- シニアには難しいと思ったが頑張って触りました。楽しかったです。
- 使いこなせたら面白そうだ。
- 凄い機能がたくさんあって感動した。
- ナビをしっかり使いこなせるようになりたい。
- 写真がきれい。画面も大きくて見やすかった。
- パノラマ写真まで撮れることに感動した。
- 写真がブレずに撮れて嬉しかった。

17

生徒さんの感想☹

- タッチの感じに慣れるまで操作が大変だった。
- あらかじめ座学で練習してから参加したかった。
- 昼間の明るいところだと画面が非常に見づらかった。
- 3台のタブレットが別のマップルートを出してしまい困った。
- 音声検索がうまくいかなかった。
- ナビが難しく歩きながら見るのは大変だった。
- ほんの少し触っただけで写真が取れてしまいタイミングが難しかった。
- 少し重たかったためカメラがブレる感じがした。

18

生徒さんの様子（まとめ）

慣れれば楽しめる	立ったままの不慣れな操作は危険
新しいものに感動	明るい場所で画面が見づらいことに不満
大きさはちょうど良い	やや重たい・落とす可能性あり
興味・関心高い	

19

イベントでわかったこと（ニーズ）

- 操作や使い方の練習
- 活用シーンの提案

サービス

- 軽量化
- 落とさない工夫
- 音声認識の向上
- より見やすい画面

モノ

20

タブレット端末に期待！

シニアライフにもたらされるメリットは大きい

- 暮らしの中にどう生かすことができるのか
- インターネットやGPSで生活はどう変わるのか
- どうしたらもっと楽しみが広がるか

価値共創：モノとサービス
さらに
利用者（シニア）と共に創り上げる価値

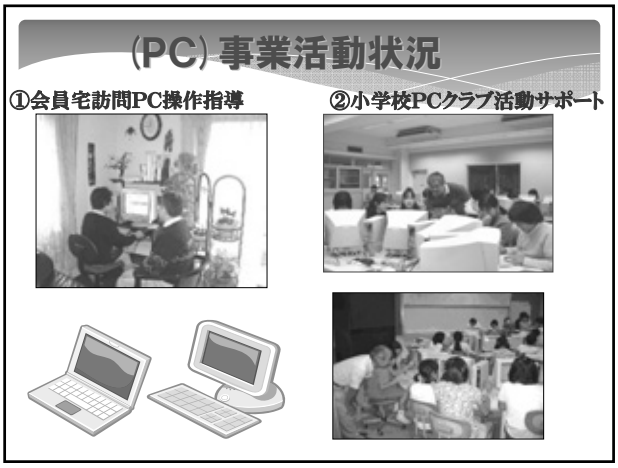
3－2　発表資料

モバイルシニアネット活動先進事例―コミュニティカフェで楽しいケータイ教室　あびこ・シニア･ライフ･ネット

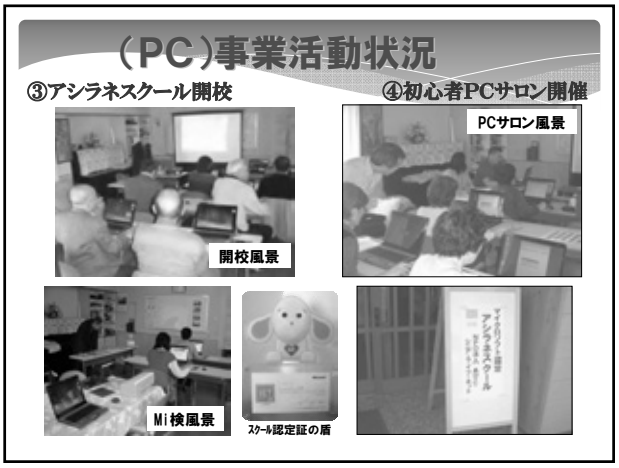
1

2

3



4



5

6

7

防犯・防災事業活動状況
①センサーライト・
テレビドアホンの設置
②火災警報器の設置

8

その他活動状況
①シニアサロン・カラオケ喫茶開設
麻雀
カラオケ
囲碁

9

その他活動状況
②会員の旅行会
バザー出店

10

モバイルシニアネット
楽しいケータイ活用術講座」
2010年10月～2011年3月
あびこ・シニア・ライフ・ネット

11

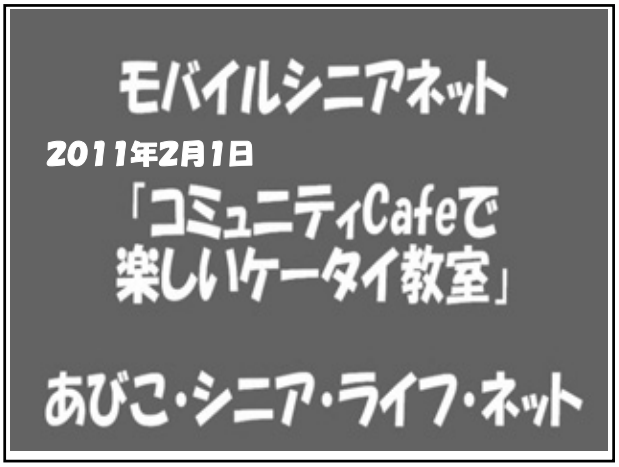
モバイルシニアネット 第3回「楽しいケータイ活用術講座」
2010年12月17日(金) 於:あびこ・シニア・ライフ・ネット

12

第３回「楽しいケータイ利活用講座」
車イスで参加の長谷川さん 2010-12-17

13

14



15

16

17

18

３－３　シニアとインターネット調査報告

NTTデータ　ICS研究会

1

第1回 モバイルシニアネットシンポジウム

シニアとインターネット調査2011報告

（株）NTTデータ 島田孝宜

2

調査概要

- **目的**:
  シニアが情報通信技術（ICT）の何に困っているか等を調査し、関連業界の企業や行政に実情を伝えること
- **期間**: 2011年2月10日～2月28日（調査は3月末まで継続）
- **対象**: 50歳以上のシニア（パソコン・携帯等所有者）
- **有効回答数**: 280人
- **回答者の属性**
  - －インターネット利用歴 5年以上：90%
  - －男性：72%（201人）、女性28%（79人）
  - － 50歳～59歳：18%（49人）
    60歳～69歳：34%（95人）
    70歳～79歳：40%（113人）
    80歳～89歳：　8%（23人）

3

回答者280名の真実の声

今回の調査から分かったこと

4

携帯電話

使いにくいと思う
情報機器ランキング第1位
(85人/280人)

5

3人に1人

携帯電話保有者のうち
「携帯電話が使いにくい」と
答えた割合
（85人/253人）

10人に1人

パソコン保有者のうち
「パソコンが使いにくい」と
答えた割合
（30人/269人）

6

情報機器が
使いにくい理由は・・・？

7

25%

操作性に関する問題の割合

8

72%

取り扱い方に関する問題の割合

9

取り扱い方に関する問題のうち

取り扱い説明書の問題が8割

取り扱い説明書は・・・

情報量が膨大で読みきれない　129人
取り扱いの課題が解決できない 114人
書いている意味がわからない　111人
文字が小さくて読めない　99人

10

われわれは
シニアの真実の声を
知らないのでは・・・

11

いただいたご意見・ご要望の紹介

＜企業向け編＞

12

ご意見・ご要望 －企業向け編－ 1/2

- 高機能、多機能に進歩しても、そうした機能があることを知らず、知っていても操作方法がわからず使えない場合が多い。メーカーやキャリアは売るだけではなく利用者への支援に力をいれることが必要ではないでしょうか？（80歳代女性）
- 機器の進歩は良いことです。でも、機器の扱い方が頻繁に変わるのでその度に戸惑いと諦めを感じます。（70歳代男性）
- 操作方法や機器同士の接続がメーカーごとに異なるのでできれば統一したら便利だと思います。（70歳代男性）
- 説明書は、もっと大きな文字でわかりやすく！（70歳代女性）
- 現在は五体満足、不自由を感じておりませんが、これから身体機能の視力から衰え始めると思うと、文字が小さいという問題は解決してほしいと思います。（60歳代男性）
- 利用者からの使い方や操作方法の問い合わせには無料で回答してほしい。よかったらまた買うから。（70歳代女性）

13

ご意見・ご要望 －企業向け編－ 2/2

- 間もなく70代になります。ICTが駆使できないと困ります。体力の衰えにより外出もできず、ベッドの上での生活を余儀しなければならなくなった時のことを考えると、パソコンと携帯電話は自在に使えるようになりたいです。ICTのCは生きていくために必要です。（60歳代男性）
- パソコンや携帯電話、デジカメ、どうしてこんなに猫の眼の様に代わるのでしょうか！
  高齢者にとってやっと慣れて新しい楽しみ方を享受したいと思っていると、OSも機器も入れ代わってしまいます。
  ICT技術の発展は喜ぶべきことかも知れませんが、高齢者にも情報機器やサービスの利用しやすい発展を望みます。
  （70歳代女性）

14

いただいたご意見・ご要望の紹介

＜行政向け編＞

15

ご意見・ご要望 －行政向け編－ 1/2

- 情報機器類の進歩が速く、高齢者にとっては逆に使いにくくなったと感じています。行政は端末を調達するに際し、簡単に扱える端末の採用をお願いしたい。（80歳代男性）
- e-taxの手続きは一年たつと使い方もIDもパスワードも忘れてしまいます。忘れることを前提に制度を考えてほしいです。（70歳代男性）
- 今年も確定申告をe-Taxで申告しました。しかし、説明文も専門的で判らない点が多く、やり直したりで約3時間位費やした。新しく申告する人、昨年まで実施していた人それぞれ操作方法完全に分けると判りやすいのではないでしょうか？（60歳代男性）
- 行政様。便利より 使いやすさの 追及を。（70歳代女性）

16

ご意見・ご要望 －行政向け編－ 2/2

- 共通番号制度は1日も早く導入すべきである。郵便局では払い戻し本人確認は写真入りの証明書以外はダメ、健康保険証も拒否、統一番号制が普及すれば 特に老人にメリットが大きいと思う。（70歳代男性）
- 行政はそれなりに努力していると思うが、一つだけ言いたい。高齢者が技術的にも経済的にも、より活用しやすい環境作りに目を向けて欲しいと願っている。
  もっともいけないのはPC講習会。その次は、情報機器を使えないなど、言わばICTから取り残されている人たちへの情報伝達手段も考えて頂ければと思っている。（70歳代男性）

３－４　パネルディスカッション資料
シニアのこころと暮らしを支えるメロウ倶楽部　メロウ倶楽部

1

シニアのこころと暮らしを支えるメロウ倶楽部

メロウ倶楽部
若宮　正子

2

自己紹介を

- もうすぐ、76才　アパート住い独居
- メロウ倶楽部　世話人のひとり
- 自宅で高齢者向けパソコン教室を

3

自己紹介を

- 余っているもの

やる気　と　好奇心

- 足りないもの

能力　と　時間

4

最近気になること　その1

若い人達が「便利」と思っている
デジタル世界を

ハイシニアは「面倒」と思っている
ということです

5

シニアの「世の中・デバイド」

お茶のお稽古の
お日にち変更
みなさんにはメールで
お知らせできたのに
穴路愚さんだけはメールを
お使いにならないから
不便ですわ

6

デジタル世界に背を向けている
シニアは「不便さ」を感じていない

メールなんて、そんな
ご面倒なものでなくても、
電話一本、ハガキー枚で
知らせてくだされば
済むことじゃございません？

7

最近気になること　その2

世代間の情報格差のなかで

急速に、拡大しつつある

「世のなかデバイド」

の問題です。 例えばーーー

8

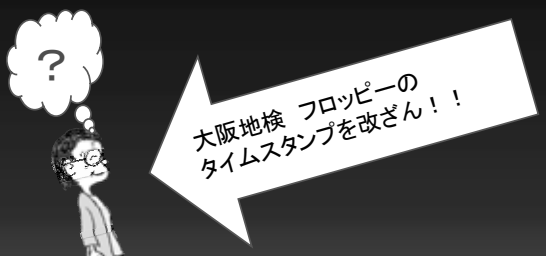
「世の中・デバイド」の発生

9

「世の中・デバイド」の発生

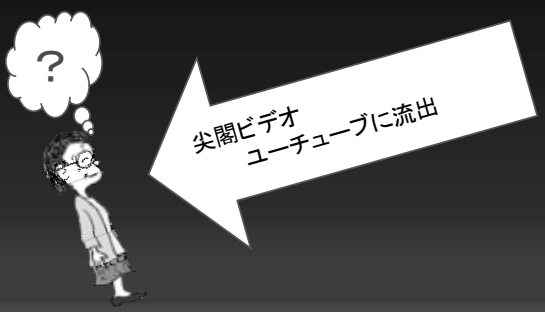
10

「世の中・デバイド」の発生



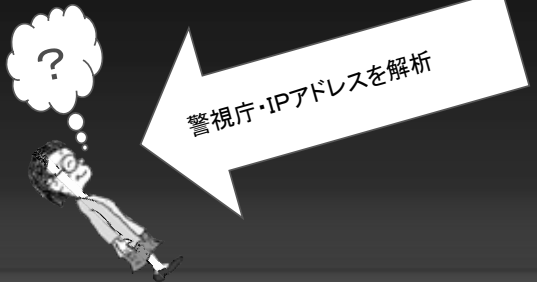
11

「世の中・デバイド」の発生



12

「世の中・デバイド」の発生

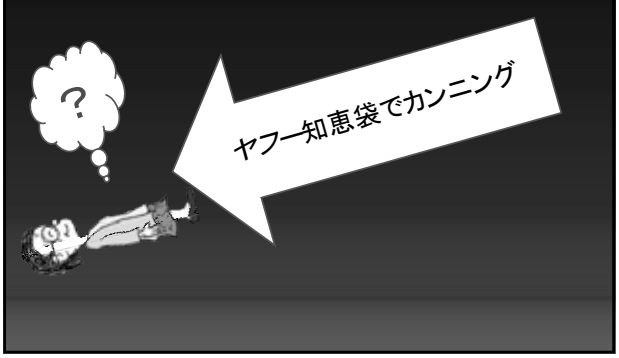


13

「世の中・デバイド」の発生

14

「世の中・デバイド」の発生



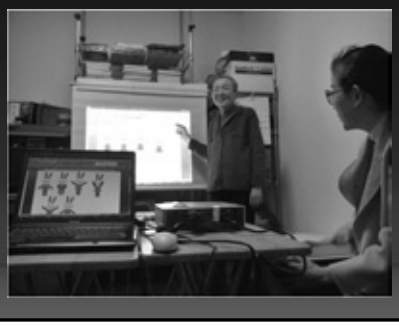
15

「世の中・デバイド」の発生

これでは、高齢者は社会の中でますます孤立する

16

というわけで、自宅で、ささやかな
楽しいパソコン教室をやっています。
で



17

マーチャンパソコン教室のモットー

楽しいシニアライフのためのパソコン

その１「今までやれなかったことができる」楽しさ

その２「創造する」楽しさ

その３「交流する」楽しさ

18

その１「できる」楽しさ

19

その2 「創造する」楽しさ

初心者の方が
「パソコンお絵描き」で
ご自分にとっての
「オニ」を描きました

20

その2 「創造する」楽しさ

簡単アニメーション
作成ソフト「DMD」、
ハイシニアにも
ファンが多い。

21

その2 「創造する」楽しさ

iPad の
琴演奏「アプリ」は
誰でも簡単に
演奏できて
シニア向き

22

その2 「創造する」楽しさ

iPad の
琴演奏「アプリ」は
誰でも簡単に
演奏できて
シニア向き

23

ネットでの交流の意義を メロウ倶楽部のサイトでご覧ください

24

メロウ倶楽部は

インターネット上で展開している
シニアの シニアのための シニアによる老人クラブ
（クルマ椅子の上でも、フルに会員ライフが楽しめる）

すべて自主運営
経済面でも自立 会員の会費（月200円）のみで賄う
システム面も（サーバーの運用などゼロからすべて）自前

日々、ネット上で、楽しい交流をしているだけではなく
シニア固有の悩み・問題を語り合っている

25

メロウ倶楽部には

26

もちろん、数々の「楽しい趣味の部屋」も

27

激変するICT事情についての情報交換の場も

28

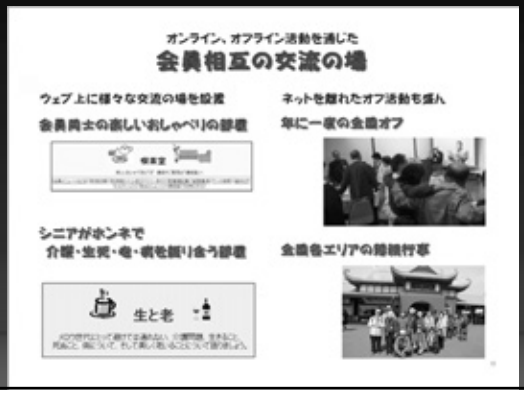
目下、公開の掲示板「携帯情報端末とシニア」を開設中

29

シニアとしてのネットを通じた社会貢献なども

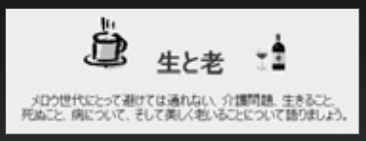
30

ウェブ上に、シニア同士の、ホンネでの交流の場があることに一番大きな意味があると思います。



31

最近のメロウ倶楽部での印象なエピソード



シニアがホンネで
介護・生・死・老・病を語り合う部屋
（非公開）

32

Kさんの場合

★ - お別び（人生の終盤） - ○○○○ 04/11-05:42 No.2591
・ Re: お別び（人生の終盤） - △△04/14-21:38 No.2611
・ Re: お別び（人生の終盤） - □□□□04/15-10:12 No.2614
・ Re: お別び（人生の終盤） - ○○○○ 04/15-20:16 No.2615
・ Re: お別び（人生の終盤） - ▼▼▼ 04/15-21:43 No.2616
・ Re: お別び（人生の終盤） - ×× 04/15-23:49 No.2617
・ Re: お別び（人生の終盤） - ○○○ 04/22-09:50 No.2639
・ Re: お別び（人生の終盤） - ○○○○ 04/22-18:08 No.2641
・ Re: お別び（人生の終盤） - ▼▼▼ 04/22-21:27 No.2642
・ Re: お別び（人生の終盤） - ○○○○ 04/23-18:53 No.2643
・ Re: お別び（人生の終盤） - ＃＃＃＃ 04/23-18:27 No.2644
・ Re: お別び（人生の終盤） - ○○○○ 04/23-23:22 No.2645
・ Re: お別び（人生の終盤） - ＄＄＄＄ 04/24-11:15 No.2646
・ Re: お別び（人生の終盤） - ＡＡＡ 04/24-12:57 No.2647
・ Re2: お別び（人生の終盤） - ＬＬ 04/24-14:14 No.2648
・ Re2: お別び（人生の終盤） - //// 04/24-17:22 No.2649

33

ご本人の発言と それへの反響

病状がこのところ急激に悪化しているので、インターネットで検索をしてみた。
たくさんの詳しい資料を読んでみると、まさに、現在のわたしの病状と同様に悪化してゆくことが分かった。
と云う事はいよいよ人生の終盤が近く、これは、身の回りの始末をつけておかねばと悟った。

（この件は）本来ならばmixi上で謝らなければならないのですが、マイミク解消で、あちらで書いても皆さんの目に触れないので、この場でお詫びをさせていただきます。

もうこれ以上は無理だという日まで、人生を楽しみたいと思っています。 ○○○○

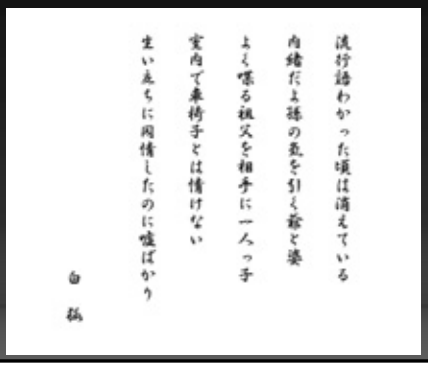
○○○○さん

ご心情よくわかります。わかるつもりかもしれませんが。
でもこうしてお互い離れていても通じあえるのがいいですね。
お寂しいでしょうがここでどんどん書き込んでください。

メロウ倶楽部ならではと思います。 ××

34

Kさんの、軽妙洒脱な「川柳」には倶楽部内にファンが多かった



35

こんな発言も

わたし一人が、介護を受けながら、不治の病と向き合っている日常の
引っ越した当座から、ネットの友達に「緊急の時に備えて娘さんの部屋と
連絡がつくように、ブザーを引いておいたほうがいいよ」と注意を受けていた。
（この方は難聴）

これは誰かに連絡を取らねばと、思ったけれども、結局は携帯しか方法がない。
PCで３人宛てにメールを打って助けを呼ぶ、あのいやでも目立つ絵文字も使い
「助けてくれ」と同文で３度も４度も送信する。

しばらくして、「どうかしたの？」と冷静に娘が現れたのでほっとする。

それからは、娘に任せたが、これはやっぱり緊急連絡装置が必要と痛感した次第である。

36

最後のアップ

たびたび同じメッセージでごめんなさい。

なぜこうなったか、原因がわからないのですが、深い泥沼に踏み込んでしまったようです。

返信

Kさんには、メロウのみんながついています。
元気を出してください。

この時点で、すでに意識が混濁しておられたようです。
その10日後にお亡くなりになりました。

37

ご逝去の連絡への会員の反響
（後ほどプリントしてご家族へ）

★ - 悲しいお知らせです - AA 02/02-16:26 No.16575
・ Re: 悲しいお知らせです - BB 02/02-18:27 No.16576
・ Re: 悲しいお知らせです - CC 02/02-18:53 No.16577
・ Re: 悲しいお知らせです - DD 02/02-20:31 No.16578
・ Re: 悲しいお知らせです - EE 02/02-20:50 No.16579
・ Re: 悲しいお知らせです - FF 02/02-21:08 No.16580
・ Re: 悲しいお知らせです - GG 02/02-21:26 No.16581
・ Re: 悲しいお知らせです - HH 02/02-21:33 No.16582
・ Re: 悲しいお知らせです - II 02/02-21:33 No.16583
・ Re: 悲しいお知らせです - JJ 02/03-04:50 No.16584
・ Re: 悲しいお知らせです - KK 02/03-10:11 No.16585
・ RE: 悲しいお知らせです - LL 02/03-11:23 No.16586
・ Re: 悲しいお知らせです - MM 02/03-12:22 No.16587
・ Re: 悲しいお知らせです - NN 02/03-13:29 No.16588
・ Re: 悲しいお知らせです - OO 02/03-14:56 No.16589
・ Re: 悲しいお知らせです - PP 02/04-10:14 No.16590
・ Re: 悲しいお知らせです - QQ 02/04-18:39 No.16592
・ Re: 悲しいお知らせです - AA 02/04-20:13 No.16594
・ Re: 悲しいお知らせです - SS 02/05-23:35 No.16603
・ Re: 悲しいお知らせです - AA 02/12-21:29 No.16621
・ Re: 悲しいお知らせです - TT 02/21-19:09 No.16637

38

このような「交流」が続くのは

- お互い顔は知らなくてもネット上での長い付き合いで「気心」が知れている
- 家族などには、かえって話しにくい内容
- 生の反応がすぐかえってくるから
- 「書くこと」で事態を客観視できるから

でしょうか

39

私も、メロウ倶楽部がなければ生きて行けないかも知れません。

私だけではなく、そういう方が大勢おられます。

とくに、配偶者に先立たれた方なかでも、奥様を亡くされた方にそういう方が、多いのです。

40

シニアにとってネットは

・単に「利便性」の問題ではなく
・社会との絆、心の支えです

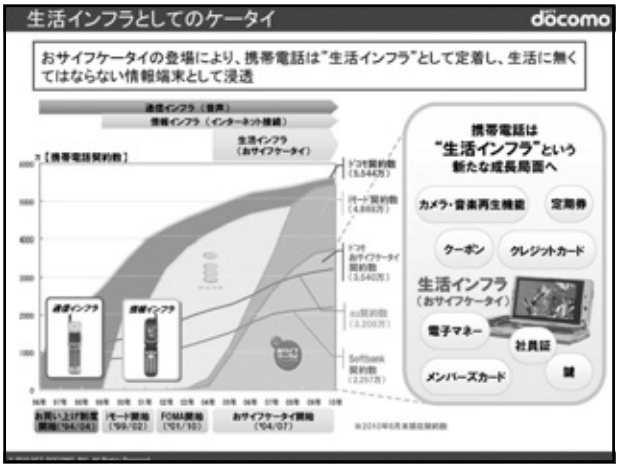
これが独居シニアの私の率直な気持ちです

３－４　パネルディスカッション資料
シニア層に向けたドコモの取組み　ＮＴＴドコモ

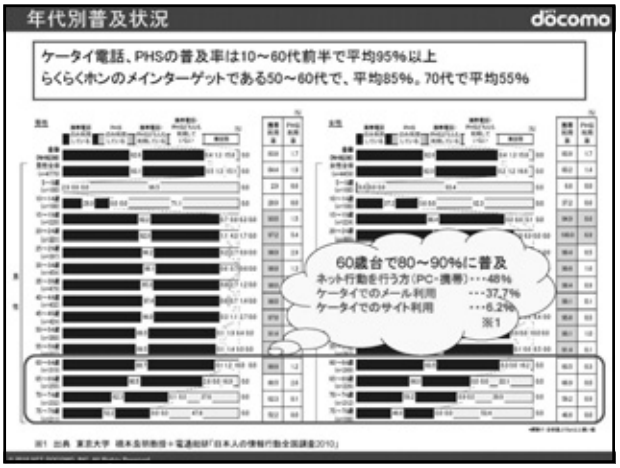
1

2

3

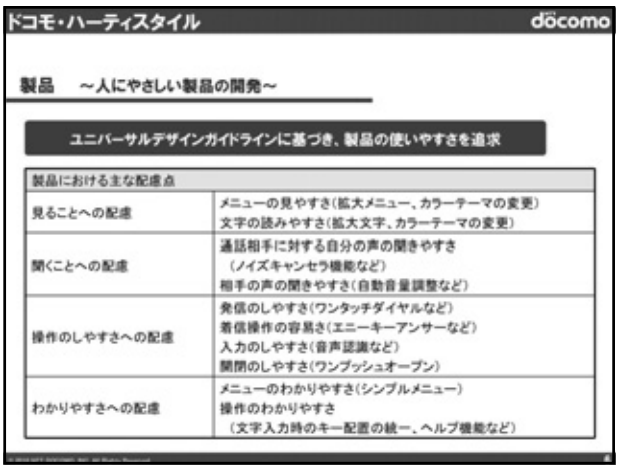


4

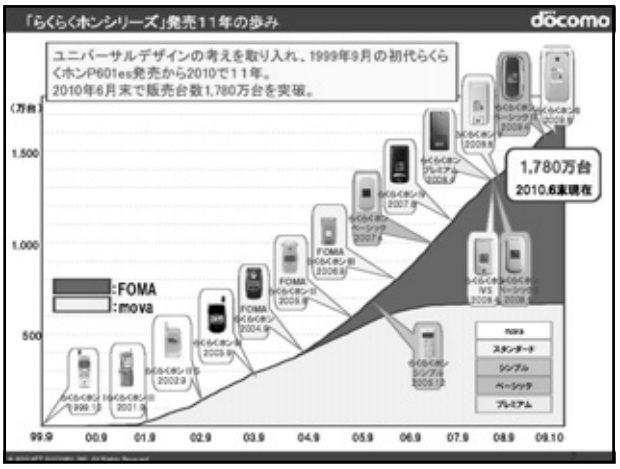


5

6



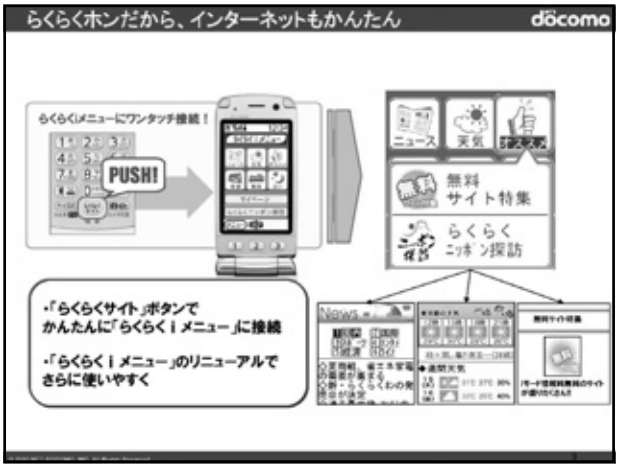
7


「らくらくホンシリーズ」発売11年の歩み
docomo
ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、1999年9月の初代らくらくホンP601es発売から2010で11年。
2010年6月末で販売台数1,780万台を突破。
1,780万台
2010.6末現在
:FOMA
:mova
スタンダード
シンプル
ベーシック
プレミアム
99.9
00.9
01.9
02.9
03.9
04.9
05.9
06.9
07.9
08.9
09.10

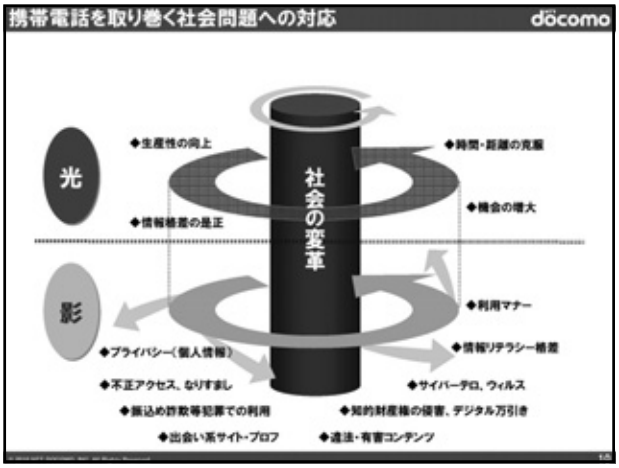
8

らくらくホンポリシー(UI(ユーザーインターフェース))
docomo
4つの基本コンセプトを軸に使いやすさを重点的に考えたドコモのUD商品
"変えないUI(アイデンティティ)"
文章調のメニュー
(利用にくい用語は使わない)
充電のし易さを優先させた
投げ込み式(上から抜き差し
可能なタイプ)の卓上ホルダ
3つのワンタッチ
ダイヤルボタン
十字キーの中央に位置する
独立した「決定ボタン」
大きな
十字キー
フォントや文字サイズに
配慮した見やすいテンキー
インターネットへ簡単接続
「らくらくサイトボタン」

9


らくらくホンだから、インターネットもかんたん
docomo
らくらくメニューにワンタッチ接続!
PUSH!
ニュース
天気
無料
サイト特集
らくらく
ニッポン探訪
・「らくらくサイト」ボタンで
かんたんに「らくらくiメニュー」に接続
・「らくらくiメニュー」のリニューアルで
さらに使いやすく

10


携帯電話を取り巻く社会問題への対応
docomo
光
影
社会の変革
◆生産性の向上
◆時間・距離の克服
◆機会の増大
◆情報格差の是正
◆利用マナー
◆プライバシー(個人情報)
◆情報リテラシー格差
◆不正アクセス、なりすまし
◆サイバーテロ、ウィルス
◆振込め詐欺等犯罪での利用
◆知的財産権の侵害、デジタル万引き
◆出会い系サイト・プロフ
◆違法・有害コンテンツ

11

シニア向けケータイ安全教室
docomo
シニア向けケータイ安全教室
2009年4月1日より振り込め詐欺対策などを盛り込んだシニア向け「ケータイ安全教室」を新たに開催
◆受講対象
各自治体の福祉課、社会福祉協議会、各種高齢者福祉団体、シニア向け地域コミュニティなどを介してお集まりいただける方々を対象に実施
◆教室概要
<安心・安全>
・「被害者にならないために」をテーマに、振り込め詐欺などの犯罪から身を守るための対策を解説
・「身を守るために」をテーマに、「iモード災害伝言板」や「エリアメール」など災害時に身を守るためのサービスや、携帯電話をなくした際の対処方法等を紹介
<端末操作>
・らくらくホンを用いて基本的な端末操作の体験型プログラムと、日常生活に役立つケータイ活用術を紹介
※シニア向け「ケータイ安全教室」開催回数
2009年度:約600回実施、2010年度:700回予定

３－４　パネルディスカッション資料
らくらくパソコンへの取組み　富士通

1

FUJITSU
shaping tomorrow with you

らくらくパソコンへの取り組み

2011年3月3日
富士通株式会社
パーソナルマーケティング統括部

INTERNAL USE ONLY
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

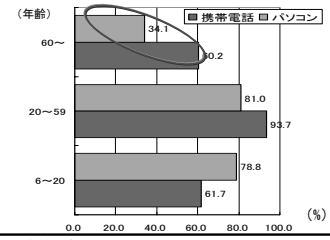
2

シニア世代のパソコン利用率

FUJITSU

■シニアのパソコン利用率は、携帯電話に比べて低い

図：携帯電話およびパソコンの利用率（個人）



出典：総務省
「通信利用動向調査（平成20年）」

＜お客様の声＞（2008年 当社調べ）
・どのパソコンがよいか、何を買ってよいかわからない･･･。
・使いはじめに何をしたらよいか、本当に使いこなせるかが不安･･･。
・何か困ったことが起こるたびに、群しい身内や知人を頼るのも気がひける･･･。

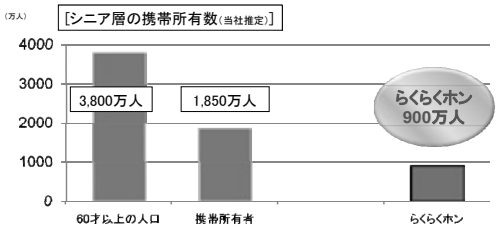
INTERNAL USE ONLY
1
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

3

シニア世代にらくらくホンが普及

FUJITSU

■シニア世代の携帯所有者の多くが、「らくらくホン」を所有
60才以上の人口　:3,800万人＊1　⇒携帯所有者1,850万人
らくらくホンユーザ：　900万人＊2



＊1：人口推計（平成21年8月1日現在（確定値））
＊2：F-07A+F-10A累計販売台数（平成22年5月末）,NTTドコモ様提供情報より

INTERNAL USE ONLY
2
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

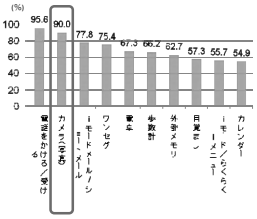
4

らくらくホンユーザーの利用実態・ニーズ

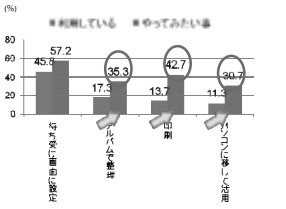
FUJITSU

■カメラ利用率は高いが、撮った写真は待受画面での利用中心
－アルバム整理や印刷などの「写真の活用」をしているお客様は少ない

＜らくらくホン各機能利用率＞



＜ケータイで撮影した写真の活用状況＞



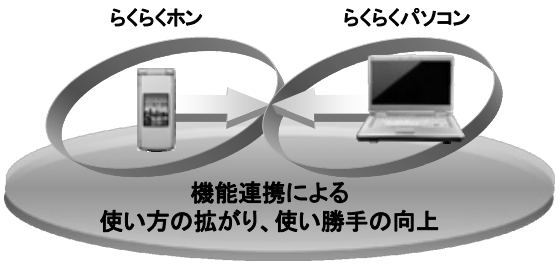
出典：当社調べ「富士通らくらくホン定量調査」（2008年、2009年）

INTERNAL USE ONLY
3
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

5

パソコンと携帯電話の更なる連携の強化

FUJITSU



INTERNAL USE ONLY
4
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

6

らくらくパソコン3のポイント

FUJITSU

～シニア世代の「デキルが、ココに。」を実現します～

「使いやすい」ハードウェア
らくらくキーボード
はじめてマウス

「かんたん」なソフトウェア
らくらくメニュー
タッチ対応ソフトウェア

「あんしん」のサポート＆サービス
専用電話相談窓口
専用マニュアル

さらに
らくらくホンとの
連携

ケータイ連携機能で
写真取り込みが
かんたん

INTERNAL USE ONLY
5
Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

7

使いやすい ハードウェア

「見やすい」を追求

FUJITSU

一般的なフォント

通常の見え方イメージ

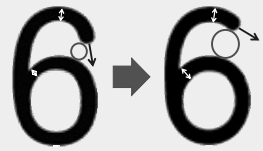
5 6 9

乱視+老眼の見え方イメージ

5 6 9

フォントの識字性向上

開口部を大きく | 端線の方向調整 | 線の太さの均一化



INTERNAL USE ONLY 6

8

かんたんな ソフトウェア

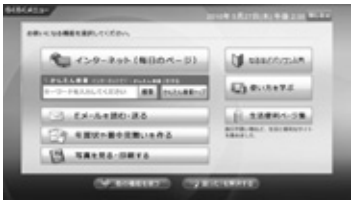
画面タッチですぐに選べる

FUJITSU

■らくらくメニュー

・電源を入れると毎回最初に表示。操作に困ったときもワンタッチボタンの「メニュー」を押せば表示される

・お客様がよく使うソフト（インターネット、はがき作成、写真活用等）に絞り込んだ専用メニュー



INTERNAL USE ONLY 7 Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

9

あんしんの サポート& サービス

「あんしん」を追求

FUJITSU

■専用電話相談窓口 1年間無料

・らくらく専任スタッフがわかりやすい言葉で対応

・操作がわからなくても安心のリモートサポート

365日対応（9:00-17:00） | 専任のサポート担当者

わかりやすい言葉で丁寧に説明 | お客様のやりたいことをお手伝い

リモートサポート

INTERNAL USE ONLY 8 Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

10

ケータイ 連携機能

写真の取り込みがかんたん

FUJITSU

■置くだけ転送機能（らくらくホン7と連携）

・「らくらくホン7専用スタンド」に置くだけで、写真の取り込みがかんたん！

・取り込んだ写真は、パソコンの大画面で1枚1枚を大きく表示
ワンタッチでスライドショーも楽しめる

・カレンダー形式の撮影した日付ごとに表示で、見たい写真を探すのもかんたん

・写真プリント、年賀状やハガキなどの印刷もかんたん

INTERNAL USE ONLY 9 Copyright 2010 FUJITSU LIMITED

11

FUJITSU

shaping tomorrow with you

３－５　デジタルテレビの新しい楽しみ方
三菱電機

1

2

3

4

5

6

３－６　モバイルインターネットで遠隔交流・学習

きんきうぇぶ

1

2

3

4

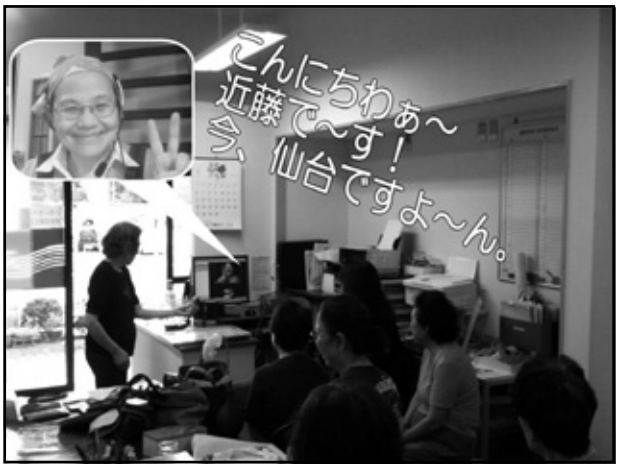
5

6

7

これが、
簡単リモコンですよ～！

8


こんにちわぁ～
近藤で～す！
今、仙台ですよ～ん。

9

今日は、香林院の服部真湖さんたちと一緒に
インターネットを通じて、お正月のお客袋を作りました～！

10

デジサポの方にお越しいただき、
地デジ講習会を実施しました。

11

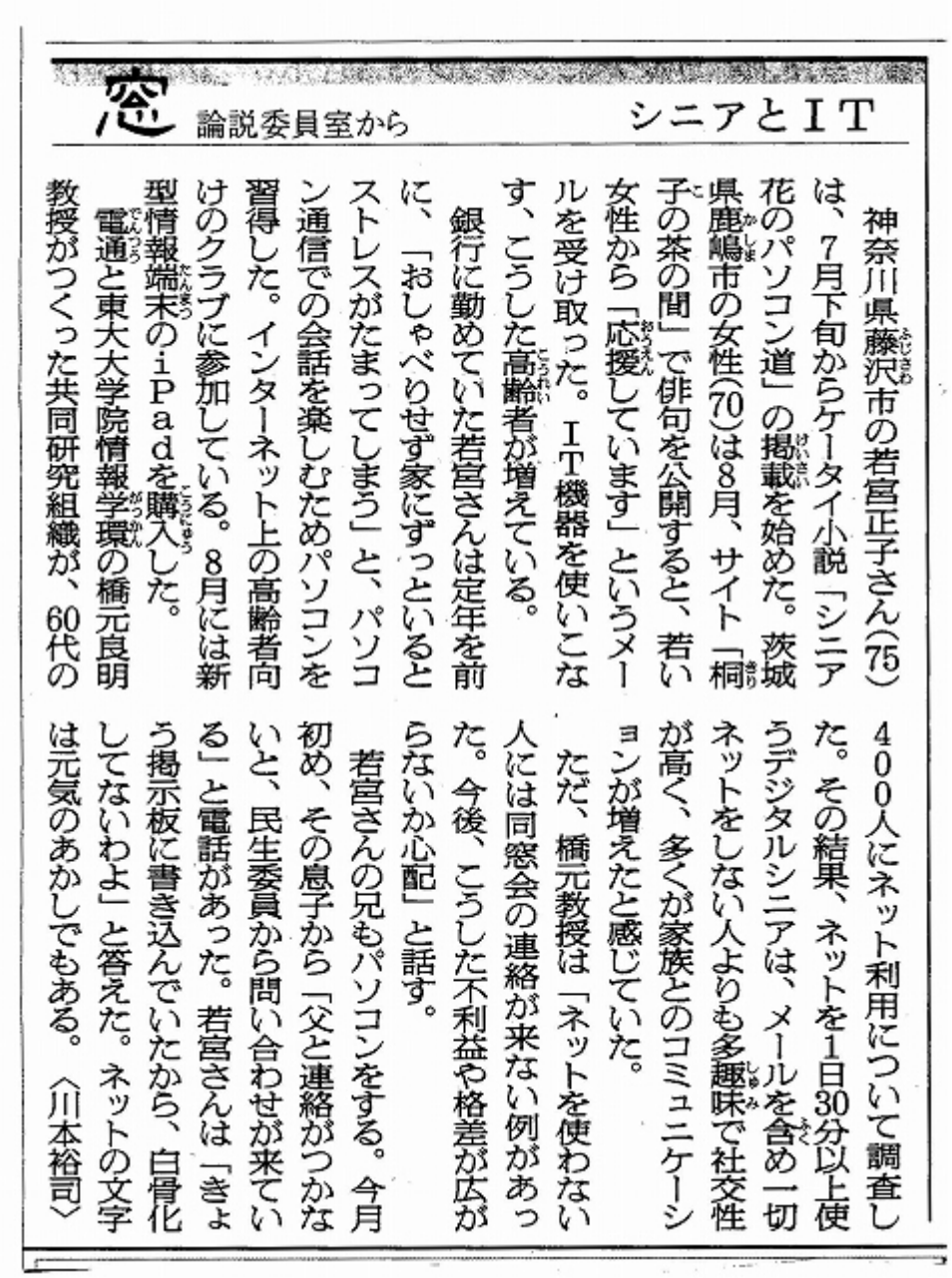
「地デジへの移行が難しい高齢者への支援を考えるつどい」
J:COM南大阪店にて、実施！
服部真湖さんと、地デジ音頭なう(*^^)v

4　メディア

読売新聞　朝日新聞　公明党新聞　NHK総合TV

４　活動紹介メディア

１　朝日新聞　　メロウ倶楽部若宮さんのケータイ小説の記事



窓　論説委員室から

シニアとＩＴ

神奈川県藤沢市の若宮正子さん(75)は、7月下旬からケータイ小説「シニア花のパソコン道」の掲載を始めた。茨城県鹿嶋市の女性(70)は8月、サイト「桐子の茶の間」で俳句を公開すると、若い女性から「応援しています」というメールを受け取った。ＩＴ機器を使いこなす、こうした高齢者が増えている。

銀行に勤めていた若宮さんは定年を前に、「おしゃべりせず家にずっといるとストレスがたまってしまう」と、パソコン通信での会話を楽しむためパソコンを習得した。インターネット上の高齢者向けのクラブに参加している。8月には新型情報端末のｉＰａｄを購入した。

電通と東大大学院情報学環の橋元良明教授がつくった共同研究組織が、60代の400人にネット利用について調査した。その結果、ネットを1日30分以上使うデジタルシニアは、メールを含め一切ネットをしない人よりも多趣味で社交性が高く、多くが家族とのコミュニケーションが増えたと感じていた。

ただ、橋元教授は「ネットを使わない人には同窓会の連絡が来ない例があった。今後、こうした不利益や格差が広がらないか心配」と話す。

若宮さんの兄もパソコンをする。今月初め、その息子から「父と連絡がつかないと、民生委員から問い合わせが来ている」と電話があった。若宮さんは「きょう掲示板に書き込んでいたから、白骨化してないわよ」と答えた。ネットの文字は元気のあかしでもある。〈川本裕司〉

2　読売新聞　　楽しいケータイ活用術が公開されたことを紹介する記事
11 月 16 日火曜日　朝刊

生活Wide　わいど

高齢者にも情報の恩恵を

パソコンなどのデジタル機器は苦手という高齢者は少なくない。しかし、敬遠しているばかりでは情報の恩恵から取り残されてしまう。高齢者向けに携帯電話の活用術や多機能端末を紹介するなど、支援に工夫を凝らす市民団体が出てきている。（西村洋一）

NPO ケータイ手引書、iPad体験会

「キーボードやマウス操作が苦手でパソコンのハードルが高いなら、携帯電話を使いこなすことから始めてみては」。15年にわたってシニアのパソコンボランティア活動を続けてきた市民団体「老テク研究会」（東京）の近藤則子さんは最近、そうアドバイスしている。

「携帯電話なら特別な設定をせず手軽にインターネットを利用できる。便利な機能がたくさんあることを教えたい」と、今月「楽しいケータイ活用術」と題した手引書を発行した。

「携帯電話帳を作ろう」「絵文字付きメールを送ってみよう」など計20のレッスンに挑戦しながら、携帯電話に徐々に慣れていく内容になっている。

この手引書は、作成に協力したNPO法人「コミュニティリンク」のホームページ（http://www.communitylink.jp）から無料で入手できる。

＊

総務省によると、高齢者のインターネット利用率（2009年末）は65歳以上で36・9％。80歳以上に限ると、18・5％と低い。13～49歳では95％を超えており、世代間で情報格差が拡大することを近藤さんは心配する。企業や行政の情報がホームページで提供される機会が増え、インターネットが使えないと不便だからだ。

そこで、近藤さんは、シニア向けパソコン教室を開いている首都圏や関西などの市民団体や、インターネットで交流しているシニアの全国サークルの協力を得て、各地で「携帯電話教室」を開催する計画を進めている。今回作成した手引書をテキストにする。

近藤さんは「携帯電話の操作の習得だけではなく、機器を生活のどんな場面で活用するのか考えよう」と提案する。若い世代が使う物と思われがちな機器も、高齢者の生活に役立つことが多い。例えば、同時に何人もの人に送信する「同報メール」機能を覚えておくと、体調が悪くなった時など緊急時にも家族や友人に一斉にメールを送って助けを求められる。

「外出できないお年寄りに、知人が旅先から寺社やひな飾りを携帯のテレビ電話で生中継して、喜ばれたこともあります」

携帯電話によっては、内蔵された カメラを拡大鏡のように活用して小さな文字を読むこともできる。「知らないともったいない機能がたくさんあります」

＊

一方、シニア向けに、多機能端末「iPad」の無料体験会を9月に開催するのは、NPO法人「シニアSOHO普及サロン・三鷹」（東京）。

「iPad」に情報を取り込んだりする場合には、もちろんパソコンの知識が必要だ。しかし、画面で文書や写真などを見るだけなら、キーボード操作の必要がないので高齢者にはとても便利。指先で画面に触って文字を拡大することも簡単にできる。同サロンの山根明さんは、「家族や知人のサポートがある場合には、高齢者も十分に楽しめる機器。今、高齢者施設などにiPadを持ち込んで楽しんでもらえることができないか検討している最中です」と話す。

東京大教授（人間支援工学）の中邑賢龍さんは「新しい機器は次々に登場するが、高齢者が追いついていくには時間がかかる。支えていく動きが広がっていくのは意義あること」と話している。

「携帯電話は高齢者に大いに役立ちます」。携帯電話教室の準備に集まったシニアたち（東京・日黒区で）

くらし■家庭

３　読売新聞　　シニアＳＯＨＯ普及サロン・三鷹　ドコモなど
デジタル機器のトラブル対策・対処法を呼びかけ

ご用心！高齢者 [2]

ネットのワナ かわす知恵

出会い系、振り込め 対策学ぶ

京都府の60代の男性は、宅配ＤＶＤレンタルサービスの「無料お試し」を利用しようと、インターネットでクレジットカード番号を入力し登録した。入力後、一度も利用せず数か月たったが、カード決済で金が引き落とされていた。無料期間を過ぎて、自動的に有料会員に登録されたらしい。返金には応じてもらえなかった。「利用しなければ無料と思っていた」と、男性は消費生活センターに相談した。

多くの高齢者がデジタル機器を使うようになり、消費者トラブルの対策が求められている。トラブルは、不慣れによるもの、業者にも問題があるもの、詐欺など様々だ。

シニア向けに、デジタル機器の体験会を開催しているＮＰＯ法人「シニアＳＯＨＯ普及サロン・三鷹」（東京）は、体験会のたびに、注意点を伝えている。通信販売やオークションなどのネット取引、結婚情報サービスなどに興味を持つ高齢者も多いという。

助言は「ホームページを次々と閲覧した時に、内容がわからないまま画面上のボタンをクリックしない」「個人情報をむやみに入力しない」――など。担当の山根明さんは「高齢者は、家族がいても日中ひとりで家にいることが多い。だまされた場合も相談しない傾向にある」と話す。

デジタル機器は上手に使えれば、高齢者の生活を豊かにする（シニアSOHO普及サロン・三鷹の体験講座で）

パソコンの使い方などを教えるボランティア団体「老テク研究会」（東京）も、高齢者にネットトラブル対策を説明している。最近注意を呼びかけているのが、出会い系サイト。高齢者から金をだまし取ろうとする事例もあり「お金を振り込んではいけない」と助言する。

研究会は2月、60歳以上のネット利用者を対象に、ネットとの関わりについて調査し、電子商取引での被害経験についても聞く。研究会事務局長の近藤則子さんは「高齢者もデジタル機器を上手に使えるようになれば買い物などに役立つ。ＩＴ普及のための課題を見つけたい」と話す。

対策は、携帯電話でも進む。ＮＴＴドコモは、これまで子どもや保護者を対象に開催してきた「ケータイ安全教室」に、2009年4月からシニア向けの教室を加えた。携帯電話を使った振り込め詐欺対策では、再現ドラマの映像を流し、誘いに乗らないように呼びかける。自治会などの依頼で行い、10年度は、10年12月までに620回実施した。

また同社は、有害サイトへの接続を制限するフィルタリング（閲覧制限）を高齢者にも勧めている。設定は、各社の販売店でできる。

ネット被害に詳しい東京地婦連事務局次長の長田三紀さんは「ネットの技術は進むのが速い。高齢者には端末は使いづらく、規約は細かい字で特有の用語が多い。ハードとソフトの両面で官民を挙げた対策が必要だ」と話す。

急増する利用率

09年度に全国の消費生活センターに寄せられた相談では、60代の3位が「アダルト情報サイト」（3223件）、4位が「デジタルコンテンツその他」（3106件）と、ＩＴ関連が目立つ。総務省の調査によると、09年末現在のインターネットの利用率は、65～69歳で58.0％、対前年比20.4ポイントも増えた。

4　公明党新聞　携帯電話教室の紹介

公　明　新　聞　2010年(平成22年)12月17日（金曜日）　(4)

いきいき　シニアライフ

携帯電話は楽しく簡単

「1人に1台」が当たり前になりつつある携帯電話。シニア世代にも普及が進んでいます。一方で、使い方が分からずに二の足を踏む中高年も多く、操作方法や活用術を伝える教室を開催する取り組みが広がっています。

携帯電話を手にした参加者さん（左から4人目）から操作方法を学ぶ教室

初心者でも短時間で習熟

NPO主導で中高年向け講習

「電話が鳴ったら、どうすれば……」「メニューの出し方が分からない」――。横浜市西区区内のパソコンスクールには、携帯電話を使いこなせずに悩むシニアが集まります。

企画したのは、高齢者のための「IT（情報技術）講習会」を主催する団体「老テク研究会」（東京）の近藤順子さん。「携帯できれば、携帯は英単語にも変換できる道具」と強調します。

ところが、使い方を知らない人が多く、活用法を教える活動の必要性を痛感した、そうです。そのため、首都圏を中心に「楽しいケータイ教室」を無料で開催しています。

講習では、近藤さんが執筆したテキスト「楽しいケータイ活用術」を使います。

イラストが多く盛り込まれたテキスト「楽しいケータイ活用術」

「楽しいケータイ活用術」は、コミュニティリンクのホームページからダウンロード（取り込み）できます。

ホームページアドレスは　http://www.communitylink.jp/

で、使いこなすためのアドバイスが盛り込まれています。

今回申請された講習には、近藤さんも講師として参加しました。この日は50～80代の男女6人が、自らの携帯電話を手に集まりました。まず、携帯電話の利用状況や今回の教室で学びたい内容について話し合います。中には、「息子が買ってくれたけど、使えずに置いたまま」という参加者も。「孫にメールを送りたい」といった希望には、「私も」と、同調者が現れました。

メールの作成やカメラ撮影など

講習は実践形式で行われました。参加者ごとに使用する機種が異なる上に、操作方法が違うため、講師は一人一人の状況を確認しながら受講者のペースに合わせて講習を進めていきます。3時間もたつと、全員が自分の撮った写真をメールで送れるまでになりました。

教室が終わるころには、「漢字って面白い」「電話文を使うと簡単にメールが打てるわね」と、楽しそうに操作する参加者たち。参加した70代の男性は、「まず一歩踏み出せた」と声を弾ませていました。

近藤さんは、「耳が遠かったり体調に不安を抱える高齢者も、メールが使えれば安心。行動範囲や交流する世界も広がる」と、携帯電話の活用に期待を寄せています。

今回のような講習会の開催には、兵庫県の特定非営利活動法人（NPO法人）「コミュニティリンク」が中心的な役割を果たしています。協力団体を全国から募り、講習会の開催を推進することで、高齢者の携帯電話を使った社会参画や地域貢献をめざします。講習で使用したテキスト「楽しいケータイ活用術」も、コミュニティリンクが1月に発行したものです。

５　日本経済新聞　夕刊　　デジタル寺子屋の紹介

日本経済新聞（夕刊）　2011年（平成23年）2月8日（火曜日）

らいふプラス

地デジで高齢者困惑

「テレビが映らない」「リモコン使えない」

「接続弱者」に草の根支援

非課税世帯などに無償でチューナー

地デジで高齢者が困っているのは…

- テレビを設置してもらっても操作方法がわからない
- リモコンのボタンが増える一方でサイズが小さくなり、押し間違いを generate しやすい。ボタンの表示文字が読みづらいものもある
- リモコンを一度誤って触ると元の状態に戻せない
- アナログテレビとはチャンネル番号が異なり混乱する
- 説明を受けても、後だしでは内容を忘れがちで何度も聞き直す必要がある

（注）地デジ研究会の調査などをもとに作成した

高齢者向けの勉強会も（東京都渋谷区の香林院）

６　ＮＨＫ総合テレビ　デジタルテレビライフがやってきた

ＮＨＫテレビとＮＨＫオンラインで公開中

http://www.nhk.or.jp/digital/guide/digikita/index.html

港区健康福祉センターでの携帯電話教室や　香林院のデジタル寺子屋が紹介

●デジタルな人々
近藤則子さんは、「老テク研究会」という、ボランティア団体の事務局長。20年に渡って活動しています。
高齢者や障害のある人に携帯電話やパソコンなど、最新の電子機器をわかりやすく教えている、ボランティア団体です。
高齢者を対象にした勉強会が必要だと考えた近藤さんは「デジタル寺子屋」という名前で週1回地デジ教室を開くことにしました。

「高齢になっていくと、できないことばかり増えるわけですよね。でも、新しい技術を獲得することで今までできなかったことが、できるようになるっていうのは、すごく喜びですよね。みんなで一緒に勉強しましょうとか、難しいですよねって言ってお茶飲みながら、それで立派な学びの場だし、新しい、エンターテインメントの場になりうるんじゃないかなという風に期待しています。」

5 むすびにかえて
災害時に役立つケータイ講座

きんきうぇぶのホームページからの情報発信

モバイルシニアネットプロジェクト
東日本大震災復興支援講座のお知らせ

わたしたち（きんきうぇぶ）として出来る事・・・

3 月 11 日 午後 2 時 46 分頃、三陸沖を震源とする非常に強い地震が発生し、これにより東北地方を中心として広い範囲で大きな被害が生じております。
被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

災害用伝言板って知ってますか？

今回の大地震において、「災害用伝言板」と言う言葉をよく耳にしました。
「災害用伝言板（サービス）」とは、大きな災害が発生し、通信状況が混雑した際、被災地域の方が、携帯電話やスマートフォンからご自身の状況を登録していただくことができ、登録された安否情報はインターネットなどを通じて、全世界から確認していただける災害時専用のサービスです。

また、あらかじめ指定したご家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせしたり、被災地の方に災害用伝言板への安否情報の登録を依頼することも可能なシステムです。
この災害用伝言板サービスにより、命を救われた方も沢山おられると聞いています。

また、「緊急通報システム」や「ツイッター」など、携帯電話やスマートフォンなどのモバイルには、災害　時に役立つ様々な情報サービスがあります。災害時におけるケータイ電話の注意点、インターネットのあり方など、防災準備のモバイル知識を学びませんか？

インターネットやテレビによる被災地の状況を目にし、
「少しでもお役に立ちたい！自分たちに出来る事って何？」防災に即した私たちの「出来る活動」を考えてみましたが、今回震災にあわれた宮城県仙台市には、日本の高齢者のためのパソコンボランティア活動の草分けとして有名な団体「仙台シニアネットクラブ」があります。
地域の情報化を支援するという同じような活動に取り組んでいる私たち（モバイルシニアネット）は、全国各地の仲間たちに呼びかけ、仙台シニアネットクラブの活動拠点である公共施設「せんだいメディアテーク」復興への募金活動を開始することにしました。

講習料は、すべて　各地の活動のとりまとめをしているICS研究会（東京）を通じて、仙台シニアネットクラブの会員で家財をなくされた被災者の高齢者や仙台市財政課の寄付口座に　メディアテーク復興支援として送金させていただきます。1回90分、4人以上で開催が可能です（講習料：1人500円）。
開催のご協力と、皆様の温かい応援をよろしくお願い申し上げます。

「街はいま」仙台市太白区にお住まいの佐藤行夫さんから被災 16 日目のお便り
「災害時に役立つケータイ講座」チラシ
「災害時に役立つケータイ講座」開催ご協力のお願い
モバイルシニアネットプロジェクト HP へ
災害時の携帯電話との接し方について「利用者ができること」を専門家に聞いてみた

1

モバイルシニアネットプロジェクト

東日本大震災復興支援
災害時に役立つケータイ講座

NPO法人 きんきうぇぶ

2

大切な人・・・

3

4

1. 東日本大震災復興支援について
2. 緊急時の電話
3. 災害伝言板サービス
4. 緊急地震速報
5. 緊急時のインターネット利用
6. ツイッター活用法
7. 東北へのメッセージ

5

災害伝言板サービス体験講習会
2009年～

6

●いきいきシニアケータイ教室　●楽しいiPad講習会
・日時：1/15（土）、1/17（月）、1/20（木）、1/31（月）、2/17（木）、2/19（土）
・場所：きんきうぇぶ事務所

7

第1回モバイルシニアネットシンポジウム＆電脳雛祭り2011
日　時：2011年3月3日（木）
場　所：東京大学安田講堂

8

災害発生時における携帯電話などの使用

- 地震、事故などの災害発生時に、大量の電話が殺到すると、被災地域内における電話がつながりにくくなってしまいます。
- そのため、消防、警察への連絡などに支障が発生してしまいます。
- 被災地内の緊急な電話がスムーズに利用できるようにするため、不急な電話を控えてしばらくたってからおかけ直しいただくなど、ご理解、ご協力をお願い致します。

9

災害用伝言板サービス概要

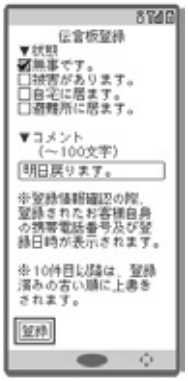
- **震度6弱以上の地震などの災害が発生した場合に利用可**
- **メッセージ登録可能エリア**
  - 登録可能エリアの詳細については「災害用伝言板」より確認することができます。
- **送信先メールアドレス設定方法**
  - 伝言板に安否情報を登録した際に、あらかじめ設定しておいた相手（5件まで）に、安否情報が登録されたことをEメール自動送信でお知らせすることができます。
- **安否確認は、パソコンからも利用可能**
  - 他社の携帯電話の確認も可能

10

登録

伝言を残す

- コメントのみでも可
- 登録は10件まで（古い順に削除される）
- メール登録をすることもできる



11

確認

伝言を見たい

- 他社の携帯電話の確認をする場合は有料

12

災害用伝言板サービスの体験

docomo　iメニュー→災害伝言板

au　ボタン→au onetop →災害伝言板

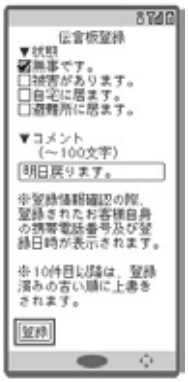
SoftBank　Yボタン→災害伝言板

確認しましょう！

きんきうぇぶ妹尾　090-3703-0344

13

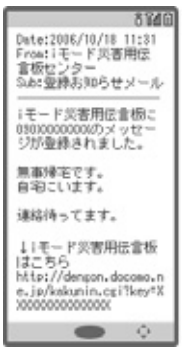
登録しましょう！



- コメントのみでも可
- 登録は10件まで（古い順に削除される）

14

登録お知らせメール
（被災者 → 通知対象者）



15

自動送信メールの設定

災害伝言板の登録の内容を、登録したメールアドレスに自動送信することができる

16

自動送信メールの設定 docomo

17

自動送信メールの設定 docomo

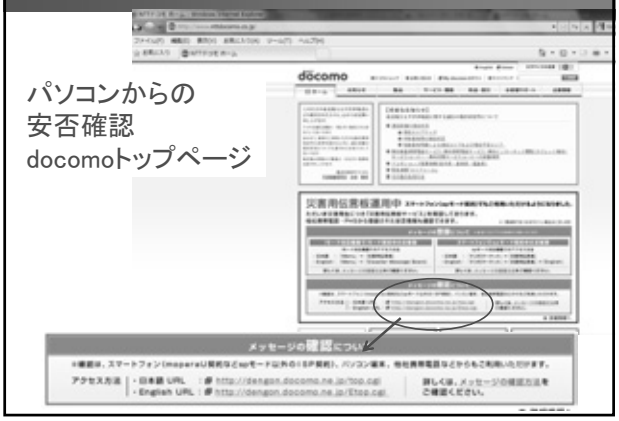
18

パソコンからの
安否確認
auトップページ

19

20

パソコンからの
安否確認
docomoトップページ



21

22

災害用伝言体験サービス

- 毎月「1日」「15日」
- 正月三が日
- 防災週間
  平成22年8月30日(月)から9月5日(日)
- 防災とボランティア週間
  毎年1月15日から21日まで

23

緊急地震速報

最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ (震度4以上) が予測される地域をお知らせするものです。
気象庁が配信する

docomo　エリアメール

au　緊急地震速報

SoftBank　緊急地震速報

24

地震速報エリアメール

25

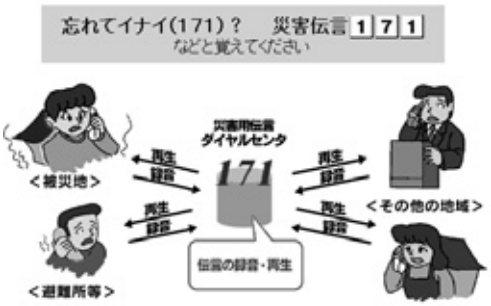
緊急災害地震速報

26

緊急災害地震速報

27

災害用伝言ダイヤル NTT西日本



28

災害用伝言ダイヤル NTT西日本

- 震度6弱以上の地震発生時に利用可
- 一般加入電話、公衆電話、ひかり電話からご利用できる
- 携帯電話やPHS電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせ下さい。
- 「171」をダイヤルした後、被災地の電話番号を入れるまでは無料です。
  その後、録音、または再生案内ガイダンスが流れた時点から、被災地の電話番号までの通話料が必要となります。

29

30

31

電話の「着信拒否設定」解除を　NTT東日本

東日本大震災の被災地からの電話を受けられるよう、NTT東日本は、電話の「着信拒否設定」を解除するように呼び掛けている。避難所などに設置された**特設公衆電話**は、発信者番号を通知しないため、着信できないケースが出ているという。

固定電話の設定解除は、契約サービスで拒否しているなら、受話器を上げて「148」をダイヤルし、次に「0」をダイヤルする。電話機本体で設定しているなら製造メーカーに問い合わせる。

携帯電話は、スマートフォンを含め端末の操作で解除できる。購入時の初期設定では解除された状態という。

特設公衆電話から電話した際、受け手側が着信拒否設定をしていると、そのままではつながらない。受け手側の電話の機種によっては、呼び出し音は聞こえても実際につながらない場合もある。

2011/03/17 21:22

神戸新聞NEWS THE KOBE SHIMBUN

32

インターネット情報

・グーグル
・ヤフー

・気になった記事

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110321-00000037-maip-soci

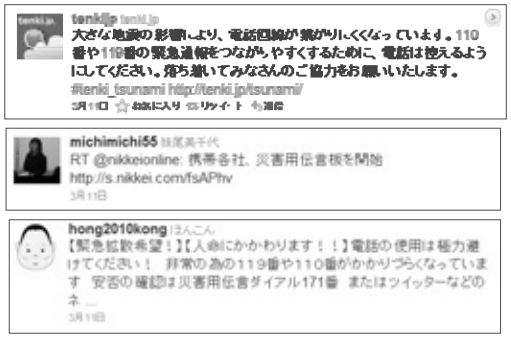
http://rocketnews24.com/?p=81175

http://blog.goo.ne.jp/zennan_saigai/e/48e7c0ea43e28892337e6e1300df7e2b

33

ツイッター

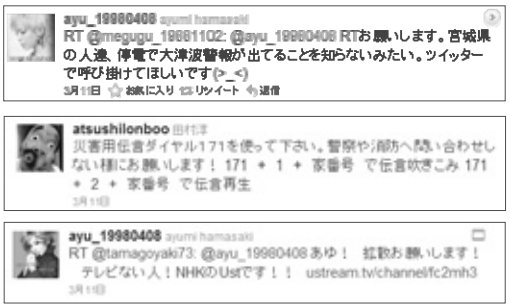
震災直後



34

ツイッター

震災直後



35

36

ツイッター

震災の夜

37

ツイッター

デマやチェーンエール

hiramatsu_osaka 平松邦夫
北海道から九州までの電力系統は、全て送電線で繋がっています。このシステムでは西日本60Hzと東日本50Hzの周波数を変換する必要があり、変電所は新信濃、佐久間、東清水の3箇所でその能力100万kw分を既に供給中です。関東での節電をお願いします。
3月12日

hiramatsu_osaka 平松邦夫
こうした大規模災害の際に流言飛語はつきもの。ネット環境が進んだだけに情報源の確認は重要です。電力需要の情報については関西電力に確認、東京電力のHPでも確認した情報です。確かな連帯の輪で「思い込み」情報を吹っ飛ばしましょう。
3月12日

38

チェーンメール

39

ツイッター

震災翌日から

masason
Mar 12, 11:54pm via Echofon
ソフトバンクの全ての皆様の全てのメールを一週間無料にしたいと思います。詳細は、後ほど。被災して亡くなられた全ての方々の冥福と生きておられる方々の幸運をお祈りいたします。

touhokujishin
Mar 12, 9:50pm via Facebook
携帯電話のための災害情報リンク
http://fb.me/Qsu3tWyW

40

ツイッター

震災時によく見たリスト

41

きんきうぇぶホームページ

42

大切な人に伝えて下さい

５　　むすびにかえて

災害時に役立つケータイ講座の普及をめざして

東日本大震災後、大阪の「きんきうぇぶ」では、震災の復興支援活動として、高齢者を対象にした「災害時に役立つケータイ講座」を実施している。
「災害時に役立つケータイ講座」は、１回９０分、１名５００円。定員４名の小さな講習会で、参加料を募金するというものである。

災害用伝言板の使い方講座であれば、電話会社や機種に関係なく実施できる上、それまでパソコンは難しいと敬遠していた高齢者にも、インターネットの利便性を知り、使い方を学ぶことができる良い機会である。
「あびこ・シニア･ライフ・ネット」など他の団体でも実施することになった。

仙台市の高齢者たちは、「電話が通じない時、携帯電話の災害用伝言板を使えて良かった。」「遅れはあったが携帯ショートメールで連絡がとれてよかった。」「妻には贅沢だと批判されたが、携帯電話でみられるワンセグデータ放送情報が停電でテレビがみられなくなった時に、大変有用であった」と、仲間の安否を気遣う「パソコンと仲良くする会」の主宰者である井桁章氏のメールに返信している。
井桁氏は、「心配してメールを出してみたが、日頃は返事をしない人までも返信メールを書いてくれた。ガソリンが不足して車も出せない、外出の難しい時期、ネットで自宅にいながらに仲間の消息がわかるのはありがたい。」と話してくれた。

大規模な災害時こそ、インターネットは威力を発揮する通信手段である。
ネットを使える人と使えない人の格差は、大規模災害時には特に切実である。
モバイルシニアネット活動を、まだインターネットを使っていない高齢者に対して、防災、減災に有用な「災害時に役立つケータイ講座」として普及させていこうと決意を新たにしている。
きんきうぇぶのサイトから公開されている呼びかけ文と、妹尾美千代さんが作成した資料を掲載し、この活動に取り組んでくれる人たちと「がんばれ！日本　がんばれ！東北　がんばれ！仙台」の思いと情報を共有したいと思う。

ご協力、ご支援くださった皆様、本当にありがとうございました。
今後ともご指導、ご助言を賜りますよう、どうぞよろしくお願いします。

2011 年　春
モバイルシニアネットプロジェクトコーディネーター
近藤　則子

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

発　行

特定非営利活動法人 コミュニティリンク

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上1-2-207